

# 地方史情報 106

2011年12月

都市研究は都市の民俗を  
どのように見てきたのか

有末 賢

「都市民俗の周辺領域」というネーミングは、『都市民俗基本論文集』から見たときの名前の付け方である。つまり、考現学や生活学は、現在の日本の学問領域の中に確実に地位を得ているとまでは言えないが、都市社会学や都市地理学、建築学と建築史、都市人類学については、むしろ、都市民俗学よりも先学の都市研究であり、都市民俗学よりも早くから領域がある程度確立してきている分野と言えるのである。であるから、「都市民俗の周辺領域」とは、言い換えると、従来の都市研究は、「都市民俗」と呼ばれる現象をどのように見てきたのか？と見ることもできる。(中略)

『第4巻 都市民俗の周辺領域』に収録されている諸論文は、確かに意識的に「都市民俗」を主題としているものは少ない。それぞれの「周辺領域」「隣接領域」において「都市民俗」起源の主題をどのように見てきたのか、そのことがおぼろげながら見えてくれば編者の意図は達成されるのである。そういう見方をするならば、第1巻から第3巻までも、「都市民俗学」固有の方法や視点から論じられた諸論文ばかりとは言い難い。それは、前述した「都市民俗の境界性」という性格によるのかもしれない。都市民俗学は、その出発点からして「学」としての確立に成功しているとは言えないし、その動揺性、境界性にこそ本質的な存在価値があるのかもしれない。学問においても、中心的な台座からは、常に縮小再生産と権威のコピーばかりがはびこって、下降線を描く。それに対して、周縁的な位置から、無名の若者が放つ批判の矢こそが、新たな学問運動の力のエネルギーへと変わっていく。このような学問の制度化と制度化への批判の往復運動を通して、今まで見えていなかったものが次第に見えてくるようになってきたのである。

これからも、現代の都市民俗を研究し続ける若者たちが、本書を批判し、乗り越えていくことをぜひ期待したい。

(有末賢ほか編『都市民俗基本論文集4：都市民俗の周辺領域』、

2011.10、小社刊、「解説」より)

# 地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

\*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

## 北海道・東北

### ◆標茶町郷土館報告

〒088-2261北海道川上郡標茶町塘路1-12  
Tel.015-487-2332 1985年創刊

### ◇23 2011.7 A4 43p

標茶町の山林を守ろう—林業の再生と外資による山林買収の阻止を  
横平 弘  
北海道東部標茶町軍馬山の鳥類観察記録—1993年～2010年  
小荷田行男／辻ねむ／北村善春／澁谷千尋／瀬川卓磨  
標茶町塘路地区に生息するキタサンショウウオの産卵状況  
照井滋晴／辻ねむ／澁谷千尋  
京都大学北海道研究林(標茶)の植物  
光枝和夫／岡部芳彦  
平成22年度標茶町郷土館 年報

### ◆ふるさとの語り部 帯広百年記念館

〒080-0846北海道帯広市緑ヶ丘2  
Tel.0155-24-5352

### ◇23 2011.8 A5 233p 1000円

《特集 ふるさとの肖像—浦幌炭砦》  
巻頭フォト  
ふるさとの肖像—浦幌炭砦 谷崎由喜男  
語り部  
飯田和幸さん 作間勝彦／阿部玲子  
久保一江さん 小野寺敏子／阿部玲子  
荘田喜與志さん 山中玲子／阿部玲子  
特別寄稿  
私の歩んだ道—軍国主義の時代

をくぐって 佐藤 耕一  
東京少年の戦後農業開拓日誌—  
都会の知的な少年の途な奮闘と苦悩 松本 恵右  
付録 ふるさとの語り部収録者

### ◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目  
かでの2・7ビル9階 Tel.011-231-4111  
www.l0.ocn.ne.jp/~bunkazai/

### ◇324 2011.3 B4 4p

五十年の足跡をたどって 卜部 信臣  
世界文化遺産への登録をめざして  
(4)一大船遺跡 北海道教育庁生涯学習推進局文化・スポーツ課  
子どもの文化財愛護活動—ふるさととはわたしのたから  
和田屯田郷土の歴史保存・伝承事業  
砂澤ビッキの魂が生き続ける地、音威子府村「BIKKYアトリエ3モア」—おといねっぶ美術工芸高校の生徒によるボランティア活動  
日本画家 平山郁夫と文化財保護  
舟山 廣治  
平成23年度通常総会等日程決まる  
北大植物園新収蔵庫の完成 加藤 克  
各団体の活動(13) 丸瀬布の走る  
林鉄S L 白煙は未来へのシグナル(1) 秋葉 實  
中島公園の木下成太郎の銅像 亀谷 隆  
読者の声  
文化情報先生 成田 修一

広く根室に眠る歴史を伝えたい

森 紫朗

### ◇326 2011.7 B4 4p

平成23年度通常総会 役員24人を選任  
創立50周年定期総会を終えて 舟山 廣治  
平取町文化財めぐり(日帰り)—アイヌ文化のふるさとをめぐる  
8月27日(土)  
国指定への歩み 道庁赤レンガ庁舎の史跡指定の経緯 山田 文明  
赤レンガ「桜花が祝福する百年」北室かず子  
世界文化遺産への登録をめざして  
(6)一縄文世界遺産登録推進専門委員会1 北海道教育庁生涯学習推進局文化・スポーツ課  
新シリーズ「鯉場の歴史を伝える 積丹町の取り組み」 阿部 剛  
各団体の活動(15) 丸瀬布の走る  
林鉄S L 白煙は未来へのシグナル(3) 私の思い出 秋葉 實  
本田金次郎美術館を運営するN P  
O法人岩内美術振興協会 岡部 卓  
地域の団体活動  
和田屯田被服庫の保存・整備  
和田屯田歴史伝承事業実行委員会

### ◆北方民族博物館だより

北海道立北方民族博物館  
〒093-0042北海道網走市潮見309-1 Tel.0152-45-3888 1991年創刊 hoppohm.org

### ◇81 2011.6 A4 4p

20周年記念企画展  
北方民族博物館20年のあゆみ 中田 篤  
旭川市博物館第62回企画展 アイヌイットの壁掛け—カナダ極北のあったか手仕事 笹倉いる美  
講座 アリュートのカヤック  
講師・新谷暁生氏 中田 篤

講座 網走周辺のアイヌ語地名

講師・伊藤せいち氏 渡部 裕  
第26回特別展 ウイルタとその隣人たち—サハリン・アムール・日本 つながりのグラデーショ

### ◆岩手県南史談会研究紀要

〒021-0023岩手県一関市銅谷町2-3  
高橋龍夫 1953年創刊

### ◇40 2011.7 B5 112p

刊行に当たって 遠藤 輝夫  
研究発表  
高野長英と興田の小森塾 畠山 喜一  
紙上発表  
論考二題 菅江真澄「骨寺来訪」論／安部外記之介論考—安部徹良氏論文と関連して 小野寺 啓  
幸田露伴と平泉・一関 岩淵 国雄  
花陰樵語 佐藤 松雄  
東臯と蕪村・几童について 菅原 宏通  
相沢暁村の年譜稿 菅原 宏通  
明治26年の地形図を見る—一関・平泉の参考文献とともに 阿部 和夫  
「赤生津・安部氏」の出自を尋ねて(3) 仙台藩時代(江戸時代)前半期における「赤生津・安部氏」に関連する歴史上の記録の検討 安部徹良／安部皓三／安部公良／森静子  
情報・資料紹介 本年度の考古学の成果について 遠藤 輝夫  
書評 石川昌男著『焼石岳と胆沢平野の自然』を読む 阿部 和夫  
第40集記念特集  
研究紀要40集の発行に寄せて 鈴木 五助  
「研究紀要」目次一覧  
第32集～第39集 高橋 龍夫

研修旅行(史跡・文化めぐり)報  
告 遠野市の史跡と文化財 高橋 龍夫  
研修旅行感想文  
阿部勇平／菅原昭治／鈴木睦子  
会 報 高橋 龍夫

◆ホツマ ホツマ研究会

〒020-0026岩手県盛岡市開運橋通3-35-201  
Tel.019-653-5554 年3000円

◇66 2011.3 A5 4p

距離の単位 トメヂとは 清藤 直樹  
『蘇る古代 日本の誕生』にお  
ける「てにをは」の「-お」と「を」  
について(ホツマ文字) 千葉 富三

◇67 2011.7 A5 6p

距離の単位 トメヂとは(2) 清藤 直樹  
千葉富三氏編著『蘇る古代「日本  
の誕生」』の疑問点についての  
補足 小野寺白龍

◆仙臺郷土研究 仙臺郷土研究会

〒980-0804仙台市青葉区大町2-10-14  
仙台パークサイドビル2階  
Tel.022-262-5506 年3000円 1931年創刊  
sendaikyoudo.blog77.fc2.com

◇282 (36-1) 2011.6 A5 86p 1800円

〈特集 仙臺郷土研究会創立期あたりの考察〉  
郷土研究会発足の前後 高橋 昭  
仙臺郷土研究会の会誌特別号の発  
行と出版活動 伊勢 民夫

「仙臺郷土研究会」創立期にお  
ける石巻 阿部 和夫  
仙台競馬場 佐藤 千尋  
街の記憶を記録する 渡邊 洋一  
新編「昭和奇傑列伝」三話 佐藤 清一  
村田町の小学校に展示されていた  
魚雷と機雷 石黒伸一郎

〈特集 東日本大震災 各地の報告〉

先人の知恵に学ぶ津波対策 名村 栄治  
東日本大震災 石巻地域の場合 阿部 和夫  
海が傾き黒い津波が来た 木皿 光夫  
平成の大津波と松島湾 京野 英一  
津波来襲余話一二題 海野 京子  
私の震災体験 大西恵美子  
文化遺産の消失を嘆く 吉岡 一男  
文化財保護の責任、より重く 名村 栄治

◆仙臺文化往来 『仙臺文化』編集室

〒982-0021仙台市太白区緑ヶ丘1-19-6  
渡邊慎也方 Tel.022-249-6530  
2005年創刊

◇11 2010.7 A4 8p \*終刊

“壺の碑”は見ていた 渡邊 慎也  
東日本大震災考

12000人もの犠牲はなぜ 渡邊 慎也  
表紙説明 仙台の“火伏達磨” 庄子 晃子  
“男女平等”を特色とした東北帝國  
大學 牧野 正久  
“記録すること”の大切さ 渡辺 御門

庄子喜隆写真集『杜の都の路面電  
車』 仙台市電の写真集 終業  
35年を記念し再刊 同人庄子喜  
隆の力作

「仙臺文化往来」全11号の主要記  
事一覧／会員往来



『仙臺文化』休刊にあたって

一発刊同人6人から

佐藤雅也／渡邊洋一／斎藤広通  
村上正博／大和晴彦／服部夕紀  
\*『仙臺文化』編集室が発行してきた「仙臺文  
化」(第11号、2010年11月で休刊)に続き、「仙  
臺文化往来」も本号をもって7年間の歴史に  
終止符を打った。残念ではあるが、発行人  
6名の物心両面にわたる大変な労苦を思えば  
致し方なく、心から労いを申し上げたい。

渡邊慎也氏「12,000人もの犠牲はなぜ」は  
過去20年間に同氏の目に触れた、東日本一帯  
で発生するであろう大地震への提言・警告の  
数々を列記し、悔しさ、無念さを吐露したも  
ので心打たれる。それによれば、1993年に大  
船渡市で開催された「津波シンポジウム」で  
の、地震空白域を宮城県近海とした注意喚起  
の講演に始まり、貞観地震、弥生時代遺跡の  
堆積物等の歴史、考古学的知見からの懸念、  
昨年夏には、産業技術総合研究所による指摘  
など様々な警告や、高層拠点避難所設置の提  
言などがあっても拘わらず、手を拱いて来  
てしまった。しかも専門家はそれを想定外と  
いって憚らない。準備期間は十分にあった。  
それができなかったのは、「関係する施政者  
が人間性を忘れ、仕事への創造性を著しく欠  
如している証」であると厳しく追及すると共に、  
「この国土に住む住民であればこそ、猛  
省が必要」と、看過してきた住民の責任にも  
言及する。地域史研究の意義は、こうした現  
代史的な課題を検証するところにあり、その  
意味でも、本誌の休刊は惜しまれるのである。

◆ナジェージダ(希望)

石巻若宮丸漂流民の会

〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23

大島幹雄方 Tel.045-773-4643

homepage2.nifty.com/deracine/

◇26 2011.7 A4 32p

《東日本大震災》

石巻から

あの日から3ヵ月の日に思う 木村 成忠  
東日本大震災に思う 阿部 和夫  
東日本大震災津波被害報告 本間 英一  
追悼 今野さんの思い出 大島 幹雄  
Messages 高平良子／久我恵美子  
／木村恵子／武山伸  
石巻医療ボランティア報告 飯塚 修三  
朝日新聞記事より

石巻焼きそば「B-1」参戦

東松島から

明日は明日の風が吹く 久野 義文  
宮戸島から 菅野 利一  
時事通信配信記事より  
島の言い伝え、命救った

塩釜から

寒風沢の惨状 綿 普  
大津波を表す地名「閑上」 本馬 貞夫  
亘理から

東日本大震災が残したものの 斎藤 博  
各地から  
Messages 長沼庄司／佐藤三寿夫  
／滝川祐子／川本奈奈

石巻への書簡

若宮丸協会サンタカタリーナ島

石巻震災土蔵メモリアル基金

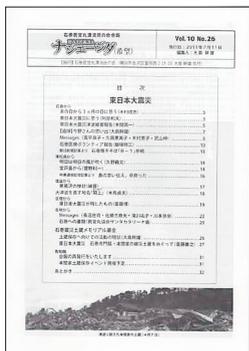
土蔵保存へ向けての活動の現状

大島 幹雄

東日本大震災 石巻市門脇・本

間家の被災土蔵をめぐって 斎藤 善之  
\*石巻、東松島、塩釜、亘理の各地から、東  
日本大震災の惨状を、多くの写真を交えて詳  
細に報告した特集である。

本馬貞夫「大津波を表す地名『閑上』(ゆ  
りあげ)」は、壊滅的な被害を受けた名取市  
「閑上」の地名が字義から、「大波が激しく沸



き立つように押し寄せてくる恐ろしい情況が込められているようだ」とし、「気仙沼」などのような東北地方に多いアイヌ地名ではなく、ヤマト政府から派遣された官人・武人が同地の光景から付けた地名ではないかと推測する。歴史の記憶遺産としての地名研究の重要性を強く感じさせられる。

斎藤義之「東日本大震災 石巻市門脇・本間家の被災土蔵をめぐって」は、被災地の資料保全を担っている宮城資料ネットのニュースから転載したもの。本間家は江戸時代の石巻を代表する千石船の船主である。その土蔵1棟が、大きく傷つきながらも、瓦礫に埋もれるようにして奇蹟的に残り、中の資料も無傷であることが確認された。本間家では、宮城資料ネットら歴史関係者の意向を受け入れて、土蔵の解体は行わず、保全の意志を示しているが、そのためには、全国的で組織的な支援が必要であると斎藤氏は訴えている。

◆北方風土 北方風土社

〒019-1541秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙1-254 森本彌吉 TEL0187-85-4027

1980年創刊

◇62 2011.7 A5 131p 2000円

嫁と雪玉一ツブシウチとナワバリ

稲 雄次

奥羽鎮撫副総督澤為量の進退を検

証する一戊辰戦争 秋田戦線 神宮 滋

『日本書紀』に見つけたナマハゲ

の先祖 伊藤 祐紀

幽玄への誘い

仏画師鈴木空如の世界 田口 榮徳

忠姫様のこと一出生 原 千秋

金子薫園と「新声社」 高倉 光一

北東北中部の鉱山ものがたり 高橋 暁樹

オシラサマと馬と娘と蚕と胞衣

(えな)とミシャグジーオシラサ

マはミシャグジ・蚕は女 松橋 由雄

年中行事の本義の解明(2)一文字

に隠された血の臭い(夏越の祭

りの茅の輪・コト八日に似た針

供養・小正月のトシナ・繭玉・

初午祭り) 松橋 由雄

百家風発

出雲大社に御札参りのこと 佐藤 貢

和賀と仙北の交流 森本 彌吉

史料編 六郷御役屋日記(慶応4年

～明治元年) 黒澤 三郎

◆聴雪 新庄古文書の会

〒996-0084山形県新庄市大手町2-65 大場

英一方 TEL0233-23-2786 1997年創刊

◇15 2011.7 B5 113p

巻頭言 雛人形の箱書を読む 早坂 誠

特別寄稿

私の古文書漫歩(1) 大友 義助

新庄領上谷地郷の一断面 鈴木 勲

入門講座の学習

正野家文書「新庄寿永軒見聞集」

(2)(八畝清一・柴崎ユキ・

佐藤寿也・小河原ヒデ子・

大友寿美代・阿部一・荒川

輝夫・早坂誠・伊豆倉公子・

神崎清次・佐藤周一・沼沢

美恵子)

解説 大泉 友子

伊藤家文書「萩野往来」(松坂

熹明・大山昭徳・伊藤善一)

解説 伊藤 勉

中級講座の学習

荒木家文書「此度郷村取扱別而

被仰出書 并惣御代官中所

存之趣申付帳」(2)(梁瀬平

吉・成沢清久・梁瀬龍夫・

杉原實・矢口三直・高橋秀

弥・大場英一)

解説 新國 吉朗

古瀬本「古老覚書壺」(1)(沓沢

正昭・矢口實・武田清夫)

解説 大友 義助

戊辰戦役の戦没者に関する文書二

点(成澤清久)

解説 土屋 道郎

手控帳

武田 清夫

仮題「庄屋役御願い」

大場 英一

角沢伊勢(角沢楯の楯主)の墓

大場 英一

大場家文書「乍恐願上候御事(伐

御判願)」六点(柴崎ユキ・

沼沢美恵子・小河原ヒデ子)

解説 伊藤 善一

随想

戸沢氏のルーツを訪れる旅

土屋 道郎

金山杉の生い立ち

阿部 一

一粒一滴

ことばの謂われ

「包外れ」(つとはずれ) 大友 義助

新庄の地名(1)

「門外れ」(もんはずれ) 大友 義助

新庄の地名(2)

「筋違橋」(すずがえばせす) 大友 義助

新庄の地名(3)

「神明町」(しんめいちょう) 大友 義助

新庄の地名(4)

「三本橋」(さんほんばし) 大友 義助

「聴雪」の由来に高い評価をい

ただく 大場 英一

テキスト解説文の手書き原稿 大場 英一

新庄古文書の会「会務報告」

◆福島県史料情報(勸福島県文化振興事業団

〒960-8116福島市春日町5-54

TEL024-534-9193 2002年創刊

www.history-archives.fks.ed.jp

◇29 2011.2 A4 4p

明治15年地籍図(伊達郡梁川村大

字梁川字櫻岳)「松川合戦」論

の問題(3)一地籍図に残る梁川

城の防備 本間 宏

茂庭の生活誌(2) 小暮 伸之

水没した村の絵図 小暮 伸之

檜枝岐村絵図について(5) 山内 幹夫

『諸国温泉功能鑑』とふくしまの

温泉 渡邊 智裕

第一回国勢調査 今野 徹

歴史資料館の一年 枝松雄一郎

◇30 2011.7 A4 4p

岩代国耶麻郡磐梯山噴火実況之図

(個人蔵) 中川耕山の『岩代国

耶麻郡磐梯山噴火実況之図』 渡邊 智裕

大震災と福島県歴史資料館 本間 宏

公文書でみる明治時代(1) 小暮 伸之

官報掲載の明治三陸大津波 山内 幹夫

◆福島の民俗 福島県民俗学会

〒963-8851福島県郡山市開成3-3-7

開成館内 TEL024-923-2157 1973年創刊

www.geocities.jp/fukushima-folklore/

◇39 2011.3 A5 64p

2010年度公開講演

相馬の鮭川をめぐって 赤羽 正春

戦時下の二本松神社例大祭 喜古 康浩  
『会津農書』にみる鉄製農具・鍛  
治民俗 佐々木長生  
「青年会」の活動と稲番一旧大甕  
村、明治時代中期の区有文書を  
通して 岩崎 真幸  
研究ノート  
愛宕花園神社社殿のあゆみ 吉田 博令  
全民連(全国民俗芸能保存振興市  
町村連盟)総会の案内  
書評・書誌紹介 石川純一郎『栗  
生沢民俗誌』(南会津町教育委  
員会)／南相馬市博物館市史編  
さん係編『山手の民俗一金房村  
を中心に』(南相馬市) 榎 陽介  
受贈図書／会務報告

## 関 東

◆常総の歴史 崙書房出版茨城営業所  
〒315-0014茨城県石岡市国府4-6-5  
TEL0299-24-0595 1987年創刊  
◇43 2011.7 A5 108p 1000縁  
『和名抄』にみえる常陸国新治郡  
の郷について(9)一伊讚・下真  
両郷を中心に 久信田喜一  
下総西部の「中世の道」について  
一鎌倉街道中道の様相 内山 俊身  
戦国末期の山尾城  
一江戸期資料による縄張復元 笹岡 明  
義公精神の伝達者としての安積澹  
泊 梶山 孝夫  
水戸家における鷹狩 河野 弘  
藤田幽谷・東湖顕彰碑と東湖誕生  
地について 仲田 昭一  
資料紹介 茨城県立笠間農学校編  
「笠間藩の民政摘要(牧野貞喜傳)」  
太田 尚一  
郷土の本

受贈図書の紹介コーナー

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報  
〒320-0865栃木県宇都宮市睦町2-2  
栃木県立博物館内 TEL028-634-1313  
年4000円 1991年創刊

◇80 2011.7 A4 4p

栃木県歴史文化研究会からの歩み

千田 孝明  
日本史の中の栃木 松本 一夫  
創立20周年記念栃木県歴史文化研  
究会第21回総会・大会のご案内  
大会テーマ「日本史の中の栃木」  
新刊紹介 「那須を綴る」事業委員  
会編『ブックレット 那須をと  
らえる1』 前川 辰徳

◆群馬県教育史研究懇談会会報

〒370-0873群馬県高崎市下豊岡町328  
森田秀策方 TEL027-322-0408  
年1000円 1975年創刊

◇34 2010.8 A4 32p

巻頭言 明治初期の督業教師 森田 秀策  
《特集 学校の統廃合のあゆみ》  
公立高校の新設・統廃合や校名の  
変更等の経緯 大沢亥之七／八木啓次  
公立小学校の統廃合  
みなかみ町立新治小学校の統合  
の経緯 利根川太郎  
桐生市立川内南小学校と川内北  
小学校の統合 大里 仁一  
分校の閉鎖  
三原田小学校分校の設立と閉校  
の経緯 大嶋 春雄  
時を紡ぎ、やがて「心の風景」  
に一日吉井町立入野小学校多  
比良分校の閉校 片山 和子  
特異な分校 白澤国民学校中澤文

教場の設置と廃校 小野 久  
新資料の紹介  
綿貫家資料と岩本学校 唐澤 定市  
明治初期の岩本学校 剣持 千秋  
丸山勇治郎先生のご逝去を悼む 森田 秀策  
教育史情報

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会

〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26  
群馬県立文書館内 TEL027-221-2346  
年4000円 1957年創刊  
members3.jcom.home.ne.jp/gunmabunka/

◇307 2011.7 A5 78p

《特集 地域史研究の最前線 Part I  
一群馬の原始・古代史》  
地域史研究の最前線 Part I 一群  
馬の原始・古代史一を開催して

右島 和夫  
講演 古墳時代首長の地域経営  
一榛名山東南麓を例に 若狭 徹  
研究発表1 渋川市上白井西伊熊遺  
跡の旧石器一出土石器が語る東  
西交流 大西 雅広  
研究発表2 列官、神階授与に見る  
上野国内の諸社の動向 中村 光一  
研究大会報告 飯塚 聡  
研究大会報告 関口 荘右  
動向 群馬歴史民俗研究会創立30  
周年記念シンポジウム 歴史・  
民俗から見る環境と暮らし 須藤 聡  
文化財レポート  
片岡郡衙に関連する遺跡群の報  
告 石丸敦史／高林真人／清水豊  
善念寺所蔵 県指定重要文化財  
木造阿弥陀如来立像 富樫 昌明  
県指定重要文化財 小野直文書  
について 藤巻 正勝  
随想 文書館へと続く道 星野 富夫

平成23年度群馬県地域文化研究協  
議会総会並びに第27回地域研究  
会(於・旧赤城・北橘村)の開催  
和田健一／阿久津聡

新刊紹介

松田猛著『川浦小の歩みをたど  
る一「当直日誌」から一』 丑木 幸男  
田中大喜編著『上野新田氏』 久保田順一  
関口覺編集『中村堰用水史』 福田 博美

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会

〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1  
TEL027-223-2785 年4500円

◇220 2011.7 A5 56p

《特集 平成の新指定一中毛編》  
平成の新指定一中毛編 松浦 利隆  
平成の新指定一中毛編一覧表 井野 修二  
火山災害で埋もれた遺跡 井上 昌美  
石倉氏と戦国の川の民一相川考古  
館所蔵・県指定重要文化財「石  
倉文書」 築瀬 大輔  
登録有形文化財第一号  
群馬県庁本庁舎と群馬会館 古澤 勝幸  
沼田から土耳古へ 高山 正  
高山彦九郎日記による歴史散歩  
(27)『丁酉春旅』(7) 正田 喜久  
箕輪城の歴史探訪『箕輪軍記』口  
語私訳(3) 大塚 實  
絵手紙で歩く 上毛かるた(43) 小林 生子  
群馬養蚕業の始祖 馬場重久の業  
績 永田 勝治  
平成の大修理を終えた唐招提寺を  
歩く 山田 弘子  
第三軍司令官乃木希典と旅順 山崎 正  
支部だより

◆埼玉史談 埼玉県郷土文化会  
〒350-0231坂戸市泉町12-5 大圖口承方  
TEL049-281-4983 年4000円

◇306 (58-2) 2011.7 A5 54p  
中世武蔵国修験十玉坊展開の意義  
(1) 高橋 一  
中世集落立地の背景と沿革(下)  
一土地利用の実態を中心に 大圖 口承  
武州秩父雑話(10)―江戸遠山氏外  
戚 秩父諏訪部氏 大野 鴻風  
大島有隣と小谷三志の相関(8)  
一有隣先生と心学先師たち 岡田 博  
下総皖一と下山懋 野本 誠一  
資料紹介  
友山翁御贈位奉告祭文祝辞  
(下) 佐藤 繁  
戸賀崎熊太郎の書状 奥田 豊  
表紙写真解説 不動明王像(清瀬  
市中清戸・日枝神社)  
口絵写真解説  
矢納発電所跡(神川町矢納)  
第621回 埼玉県平和資料館見学  
第622回 公開講演会(休会)  
第623回  
葛飾区郷土と天文の博物館見学  
第624回 定時総会・記念講演

◆千葉県立関宿城博物館研究報告  
〒270-0201千葉県野田市関宿三軒家143-4  
TEL04-7196-1400 1997年創刊  
www.sekiyadohaku.com

◇15 2011.3 A4 63p  
発刊にあたって 三浦 和信  
浅間塚築上文書にみる近世の木間  
ヶ瀬 石田 年子  
史料紹介 安政三年 笏記  
千葉県立関宿城博物館古文書研究会  
研究ノート

戦国期の利根川流路と交通一栗  
橋城と関宿城の機能を中心に  
新井 浩文  
関宿藩の武術 中村 正己  
「押堀」と「落堀」の治水地形  
用語の使い分けについて い  
わゆる「おっぼり」は「落堀」  
ではなく、「押堀」が正解で  
す(続編) 市川 幸男

◆利根川文化研究 利根川文化研究会  
〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1  
明治大学史資料センター 阿部裕樹方  
TEL03-3296-4329 1991年創刊  
www7a.biglobe.ne.jp/~tonebun/  
◇34 2011.1 B5 79p  
追悼文  
小笠原先生のご逝去を悼む 池田 宏樹  
小笠原先生の御逝去を悼む 川名 登  
小笠原長和先生のご逝去を悼む  
中村 勝  
小笠原先生との出会い 中林 正憲  
小笠原先生の思い出 原 淳二  
船橋随庵とその治水・開発策 原 淳二  
研究ノート 愛媛県西条市「加茂  
川橋」の変遷について 村上 昭彦  
史料紹介  
明治初期における千葉県の内水  
面漁業(上)―明治12年「水産  
調」の紹介 實形裕介/筑紫敏夫  
上州高崎一倉賀野間の舟運 川名 登  
コラム史料探訪 高崎藩士庄川空  
左衛門の出奔と断絶 中村 茂  
施設紹介  
阿見町予科練平和記念館 渡邊裕美子  
書評・新刊紹介  
木下良著『事典 日本古代の道  
と駅』 橋村 修

川名登編『里見家分限帳集成【増  
補版】 附安房国四郡御検地  
高目録帳 安房国寺社領帳】 遠山 成一  
野中 and 夫編『江戸の自然災害』川名 禎  
野田地方史懇話会古文書研究会  
逆井清編著『船橋随庵とその  
時代―附関宿藩の戊辰戦争―』  
中林 正憲  
例会参加記  
「利根川東遷論」雑感 中林 正憲  
例会報告

◆房総石造文化財研究会会報  
〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3  
石田年子方 TEL04-7196-3375 年3000円  
◇110 2011.7 B5 10p  
23年度定期総会終了/石仏勉強会  
のお知らせ/石仏入門講座のお  
知らせ/14回石仏見学会のご案内  
内/秋の研修旅行について/新  
刊紹介「石刻の農耕神―その発  
生と展開」/新会員紹介  
石造物を読む(6)  
筆子塚という名称と建立者 米谷 博  
初夏の三浦海岸を歩く―青面金剛  
の宝庫を巡る見学会 大木 英雄  
事務局からの御報告 廻国塔の情  
報交換について―『日本九峰修  
行日記』にもふれて 石田 年子  
石仏探訪(4)  
県内最古の白山権現塔 石田 年子

◆房総の石仏 房総石造文化財研究会  
〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3  
石田年子方 TEL04-7196-3375  
年3000円 1982年創刊  
◇21 2011.7 B5 72p  
データから見た庚申塔の造立 入谷 雄二

千葉県の道標DVD第2版の制作  
と袖ヶ浦市石造物地点インデッ  
クスDBの試行 加来 利一  
中世文書にみる一学僧の板碑 川戸 彰  
北総の子安像塔―江戸時代後期  
(文化～天保期)の展開について  
巖 由美  
印旛沼北西部における花見堂地蔵  
木原 律子  
上総国望陀郡長須賀村と石造物 筑紫 敏夫  
長柄・長南の古塔二例について 小高 春雄  
香取市・惣持院板碑について(2) 小西 則子

◆松戸市立博物館紀要  
〒270-2252千葉県松戸市千駄堀671  
TEL047-384-8181 1994年創刊  
www.city.matsudo.chiba.jp/m\_muse/  
◇18 2011.3 A4 53p  
戦後生活再現展示の研究 青木 俊也  
研究ノート 中世佐津間の検討課  
題について 中山 文人  
資料紹介  
「中村コレクション」について 山田 尚彦

◆まつどミュージアム 松戸市立博物館  
〒270-2252千葉県松戸市千駄堀671  
TEL047-384-8181  
www.city.matsudo.chiba.jp/m\_muse/  
◇20 2011.7 A4 4p  
コレクション紹介 常滑甕一湯浅  
喜代治考古コレクションより  
平成23年度館蔵資料展「写真でみ  
る昭和の松戸」  
実験展示「あるく 身体記憶」  
を、振り返って。 青木 俊也  
Next Exhibition  
企画展「松戸の美術100年史」

◆アーカイブズ

独立行政法人国立公文書館  
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園3-2  
TEL03-3214-0621 www.archives.go.jp

◇44 2011.6 A4 62p  
カラーグラビア  
〈特集 公文書等の管理に関する法律〉  
公文書管理法施行を迎えて 高山 正也  
公文書管理法施行は大きな契機 松岡 資明  
公文書管理法の施行について 笹川 朋子  
公文書等の管理に関する法律施行  
令及び行政文書の管理に関する  
ガイドラインについて 小野 隆之  
公文書管理法施行に伴う一元的な  
文書管理システム及び電子政府  
の総合窓口(e-Gov)の取組状況  
夏目 哲也  
独立行政法人国立公文書館利用等  
規則について 原 秀雄  
公文書管理法に基づく利用請求に  
対する処分に係る審査基準の概  
要について 米川 恒夫  
法人文書の移管等について 安藤 繁  
歴史公文書等の寄贈・寄託の受入  
れについて 梅原 康嗣  
紙媒体の歴史公文書等の保存方法  
について 中島康比古  
地方公共団体における公文書管理  
条例制定の動向 朝倉 亮  
久喜市公文書館の近況 堀内 謙一  
北谷町公文書館の近況と課題 外間より子  
I C A 30年原則制定の背景 小原由美子

◆足立史談

足立区教育委員会足立史談編集局  
〒120-0001 東京都足立区大谷田5-20-1  
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393  
◇521 2011.7 A4 4p

下肥に依存する農業—東京近郊の  
肥料を考える(1) 萩原ちとせ  
亀有大谷田物語(15)  
—昭和30年代の私 遊(5) 伊藤 純  
都市近郊の農産物を追う(42)  
栗原山東菜(1) 萩原ちとせ  
文化財調査報告  
歴史画像資料調査について 山野 健一  
収蔵資料展「写真でふりかえる懐  
かしい情景」  
◇522 2011.8 A4 4p  
足立区文化遺産調査報告  
千住厄除地藏講 鈴木 志乃  
清亮寺の解剖人墓と医師大久保適  
齋(1) 矢沢幸一朗  
亀有大谷田物語(16)  
—昭和30年代の私 遊(6) 伊藤 純  
下肥に依存する農業—東京近郊の  
肥料を考える(2) 萩原ちとせ  
◇522別冊 2011.8 A4 4p  
湖畔荘の鴟外碑を訪ねる 矢沢幸一朗  
東京農業大教養講座 日米さくら  
交流百周年記念講座

◆足立史談会だより

〒120-0001 東京都足立区大谷田5-20-1  
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393  
◇280 2011.7 A4 4p  
コラム教育史料 終戦直後の日本  
の教育(113) 新教育指針 第  
一部 後編 新日本教育の原点  
第四章 科学的教養の普及 堀川 和夫  
足立史談カルタ紹介  
「る」留守番をした猿仏  
「千住名倉堂風物」磯ヶ谷紫江著  
6月探訪報告 東道・赤田直繁氏  
小石川界限を歩く  
◇281 2011.8 A4 4p

コラム教育史料 終戦直後の日本  
の教育(114) 新教育指針 第  
一部 後編 新日本教育の原点  
第四章 科学的教養の普及 堀川 和夫  
瀬田良雄氏の逝去を悼む 堀川 和夫  
「千住名倉堂風物」磯ヶ谷紫江著(2)  
安藤先生 日本建築を語る「心や  
すらぐ木造建築の美」/ほうろ  
く灸土用丑の日国土安穩寺

◆板橋史談 板橋史談会

〒174-0076 東京都板橋区上板橋2-30-7-104  
TEL03-5398-2682  
◇265 2011.7 A5 25p  
《特集 回顧・太平洋戦争と私》  
回顧・太平洋戦争と私 星野 紀昭  
太平洋戦争と私に寄せて  
—板橋への空襲 猪瀬 尚志  
ひろば 小林保男会長の「いたば  
しの歴史散歩」連載終る 大澤 鷹邇  
史談会のあゆみ(4月・5月)/短報  
受贈図書目録(5月・6月) 事務局

◆稲荷山通信 八王子市史編さん室だより

八王子市総合政策部市史編さん室  
〒193-0943 東京都八王子市寺田町1455-3  
TEL042-666-1511  
◇7 2011.7 A4 8p  
『八王子市史研究』創刊号を刊行  
しました!  
『八王子市史研究』第2号 投稿論  
文応募要領  
「市史編さん室顧問」及び「市史  
編さん研究協力員」を委嘱しま  
した/顧問・研究協力員  
専門部会の動きと計画 原始・古  
代部会長/中世部会/近世部会  
/近現代部会/民俗部会/自然

部会  
地域からの声(4)  
八王子市川口町 高澤寿民さん  
職員の異動/市史編さんのあゆみ  
/受贈図書・資料  
歴史の窓(7) 10年ひとむかし 大木 悠佑

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-10-12  
加藤恒彦方  
◇380 2011.7 B5 28p  
嗚呼 齋藤久美子さん、何で… 加藤 恒彦  
奥多摩遭難事故報告 八幡邦夫/吉田美知子  
奥武蔵、秩父の獅子舞(37)  
—大野のキチガイザクラ 関口 洋介  
一日の王となり慈光寺の旧道を歩  
く 広本 礼子  
小説『犬塚』(4) 小泉 重光  
桐の花 佐藤 八郎  
地球一周クルーズ旅行記(1) 服部 英昭  
終戦の秘話 染谷 鷹治  
山行報告

◆季刊 Collegio 之 潮

〒185-0021 東京都国分寺市南町2-18-3-505  
TEL042-328-1503 2005年創刊  
www.collegio.jp  
◇45 2011.7 B6 80p 300円  
《3.11特集》  
平成23年度東北地方太平洋沖地震  
調査 松田 磐余  
縄文遺跡と地形  
震災の痕跡のある縄文遺跡 安孫子昭二  
首都圏液状化の地(1)  
潮来市日の出地区 清水 靖夫  
「帝都復興事業」にみる都市改造  
(1) 菅原 健二  
ペリー艦隊が見た地形(3) 小柴

崎から八幡鼻にかけての海食崖  
松田 磐余  
フランス古地図音楽散歩(27)  
サン・ロック教会 関根 敏子  
東京電車線路物語(23)  
電車のドア 井口 悦男  
『学習参考書地理的発見の歴史』  
について(5) 佐々木路子  
コラム  
江戸の崖・東京の崖 番外

#### ◆北区史を考える会会報

〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10  
大澤栄美方 TEL03-3907-0040  
◇101 2011.8 B5 12p  
第344回月例研究会 7月9日(土)  
赤羽公園にあった日本染色赤羽  
工場について 鈴木 久市  
ぶらり歴史散歩  
王子・上野・浅草 豊島 信夫  
第342回月例研究会 5月15日(日)  
古くて新しい国分寺 芦田正次郎  
思い出の抽斗 阿部 倬子  
第343回月例研究会 6月18日(土)  
シベリヤ抑留物語 横原 幸成  
日本製麻株式会社 大正時代の年  
賀はがき(飛鳥山博物館蔵)  
北区史を考える会会報総目次  
(80~100号)

#### ◆記録管理学会ニュースレター

〒136-0073東京都江東区北砂2-18-2-922  
荒俊樹方 www.rmsj.jp  
◇55 2011.7 A4 28p  
北海道で初。記録管理学会2011年  
研究大会をさわやかに開催。 船越 幸夫  
記録管理学会2011年研究大会参加  
記 下田 尊久

小樽開催の協力者 平井孝典さん  
からのお礼のメッセージ  
記録管理学会2011年総会の報告兼  
議事録 荒 俊樹  
二期目の会長職を拝命して 山崎 久道  
2010年度記録管理業務功労者授与  
式の報告 八重樫純樹  
地方公共団体公文書管理条例研究  
会報告書がまとまる 西川 康男  
「石原裕次郎記念館」見学記 村岡 正司  
市立小樽文学館見学記 山崎 久道  
新理事・監事の紹介と役割分担/  
新任理事の紹介/2011年度の研  
究助成対象研究を募集! /研究  
大会懇親会のときの全員による  
記念写真  
ホットトピックス  
文献紹介 新刊紹介『研究ペー  
ス学習』 古賀 崇  
文献紹介 デジタル文化資源の  
活用 地域の記憶とアーカイ  
ブ NPO知的資源イニシア  
ティブ編  
ニュース  
公文書管理法関連の動き  
千代子のちよこっと報告 東日本  
大震災 水損資料復旧プロジェ  
クト報告会参加報告 小川千代子  
城下氏を囲み「ワイガヤ会 in 関  
西」開催! 石井 幸雄  
記録管理学会「第135回例会」開  
催のご案内 「国立公文書館つ  
くば分館 見学会」再行 大谷 一雄  
後援行事の報告 国際シンポジウ  
ム「ビジネス・アーカイブズの  
価値:企業史料活用の新たな潮  
流」 松崎 裕子  
Mr.OFFICE(事務局長)便り 第

07回「東日本大震災の記録を基  
にしたGPSシステム」巨大津  
波の記録を基に人々に知恵を与  
える取り組み! 荒 俊樹  
Web担当からのお知らせ 村岡 正司  
第164回理事会議事録要約版/第  
165回理事会議事録要約版 荒 俊樹

#### ◆記録と史料

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会  
〒606-0823京都市左京区下鴨半木町1-4  
京都府立総合資料館 TEL075-723-4834  
1990年創刊 www.jsai.jp  
◇21 2011.3 B5 116p 1200円  
文書館展示を魅力あるものに  
—千葉県文書館の試み 尾崎 晃  
地方公文書館における複合館の展  
開—芳賀町総合情報館を事例と  
して 富田 健司  
世界の窓  
ハンガリー国立アーカイブズ訪  
問記 藤吉 圭二  
第10回EASTICA(国際公文書  
館会議東アジア地域支部)セ  
ミナー及びIACE2010(国際  
アーカイブ文化展示会)参加  
報告 佐々木和子  
第42回CITRA(国際文書館評議  
会円卓会議)オスロ大会報告  
佐々木和子  
アーカイブズ・ネットワーク  
—南から北から  
海老名市立歴史資料収蔵館の開  
館について 永島 靖  
富山市公文書館開館  
—経過と今後の諸課題 竹内 伸行  
「公文書管理の新天地—法と実  
践—」セミナー(公文書館機

能普及セミナー in 高知)セミ  
ナーの概要 森本 祥子  
「公文書管理の新天地—法と実  
践—」セミナー(公文書館機  
能普及セミナー in 高知)開催  
を終えて 徳橋 正人  
書評と紹介  
塵海研究会編『北垣国道日記  
「塵海」』 櫻澤 誠  
安藤正人著 岩田書院ブッレ  
ットアーカイブ系13『アジア  
のアーカイブズと日本—記憶  
を守り記憶を伝える』 高江洲昌哉

#### ◆寺院史研究 寺院史研究会

〒133-0056東京都江戸川区南小岩7-19-9  
豊荘102 岡野浩二方 1980年創刊  
◇13 2011.5 B5 102p  
武蔵型板碑の生産と流通に関する  
—考察—浅草寺における応永期  
の板碑を中心として 伊藤 宏之  
日宋・日元仏教の交流と相互認識  
大塚 紀弘  
史料紹介 転害会関連史料(3) 島山 聡  
書評 衣川仁著『中世寺院勢力論  
—悪僧と大衆の時代—』 関口 崇史

#### ◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691東京都板橋区北郵便局私書箱50号  
TEL03-3967-1948 年6000円  
◇74 2011.7 A4 6p  
岡豊城に模擬望楼櫓補があがる  
第4回中国の城郭と長城の旅から  
箭扣・九門口・白羊峪の長城と  
北京城 西ヶ谷恭弘  
東日本大震災被害報告から  
谷地小屋要害の被災 星 淳也  
最近の注目される城郭関係図書か

ら 峰岸純夫・斎藤慎一編『関東の名城を歩く』／五味文彦監修『鎌倉の文化財』各地の城郭研究会活動から／平成23年度総会・大会から

◆せたかい 世田谷区誌研究会

〒157-0061東京都世田谷区北鳥山3-6-1  
下山照夫方 TEL03-3326-1527 年2000円  
1951年創刊 setagaya-kushiken.jp

◇63 2011.7 B5 109p 1000円

東日本大震災を見舞う 下山 照夫  
復刻「大震災の歴史」 下山 照夫  
転載 世田谷松原、相原家文書と

関東大震災 編集部  
世田谷の幕末と維新〔概論〕 下山 照夫  
斎藤家の「真虫除秘咒録」について(2) 田丸 太郎

終戦の史観的基盤とその発達 大場 富雄  
三軒茶屋界限 戦前からの建造物

瀬村 進  
世田谷線について 中村 甲

古希に想う—明治維新から昭和20年代までの歴史考察 武居 義之  
座談会「区誌研究会六十年を顧みて」(2) 下山照夫／瀬村進／古我照彦／内山昌玄／横山精太郎／山岸治子／新川陽一

世田谷区誌研究会22年度の記録

バス見学会「水戸偕楽園ほか」長澤 猛  
講演会「遺構からみる住居」(石

井榮一氏・世田谷区教育委員会  
会家園担当) 編集部

講演会「武蔵の古墳」(寺田良

喜氏・世田谷区教育委員会文  
化財係主査 学芸員) 市川 博正

城南郷土史研究協議会主催  
講演と見学会 横山精太郎

午後の史跡散歩「調布市史跡」遠藤 智  
バス見学会「さきたま古墳群、

忍城城址」 内山 昌玄  
講演会「近代女帝の登場と愛子

内親王」(大塚泰次郎氏・東  
京都生涯学習センター講師) 編集部

午後の史跡散歩「東京都道歴  
史館・東京大学」 高木 良浩

世田谷区誌研究会 平成22年度の  
記録(まとめ)・会計報告・予算・

事業計画／事務局からのご報告

◆全日本郷土芸能協会会報

〒107-0052東京都港区赤坂6-7-14 パーク  
ハウス赤坂氷川102 TEL03-3583-8290  
年2000円 1995年創刊 www.jfpa.jp

◇64 2011.7 A4 24p

菅窪鹿踊

岩手県下閉伊郡田畑村菅津  
第18回総会報告／山口清文氏 地

芝居写真展示／平成22年度「感  
謝状贈呈団体」

DEAR TOHOKU プロジェクト  
／浦浜念仏剣舞・金津流浦浜獅

子 古水力会長来所／岩手・宮  
城 しし踊り情報

東日本大震災における全郷芸と会  
員の動き

千葉雄市先生のもとへ震災状況  
の報告／被災郷土芸能に対す

る支援／浅草太鼓館ミニ企画  
けんべえとししおどり

第5次東北被災芸能団体訪問報  
告 民族歌舞団荒馬座 狩野 猛

第13回全国子ども民俗芸能大会／  
第8回伝統文化研修セミナー

日本再生の基礎 民俗芸能にお  
けるこどもの役割

第14回全国獅子舞フェスティバル  
—12月に埼玉県白岡町において

開催／第4回南信州獅子舞フェ  
スティバル／第38回鳥海市史ま

つり  
松平流傍目八目(38)

東日本大震災で考えること 松平 誠

第21回全国地芝居サミット in 成  
田 開催案内—農村歌舞伎の復

活・再生から創造へ／伊能歌舞  
伎保存会 千葉県 根藤正昭代

表  
地芝居探訪(39) 東町歌舞伎／垂

井曳軸まつり子供歌舞伎／大鹿  
歌舞伎／お祭り子供歌舞伎／

小原歌舞伎／鮭川歌舞伎 松浦 鳥夫  
地芝居公演情報 7月～9月

全地連寄稿文 秩父歌舞伎正和会  
「伝統」を重んじて 十二代目

喜熨斗屋坂東彦五郎  
会員紹介 法勝寺歌舞伎保存会／

上川手歌舞伎保存会  
地芝居見聞(4) 卯年大祭 大木

六歌舞伎／肥土山歌舞伎 春季  
例大祭 北河 直子

地芝居あれこれ(3)  
地歌舞伎衣装 蒲池 卓巳

新富座こども歌舞伎五周年公演  
倉沢人形歌舞伎の変遷 菅野 芳治

夏～秋の芸能情報2011  
祭暦 2011 7月～10月

民俗楽器(40) バリ島のトゥンガ  
ナン村とガムラン・スロンディ

ン(2) 山本 宏子  
誌上講座(64) 災害によるリスク

マネジメントを考察 中坪 功雄  
会員紹介 日本民謡 綾芽会／江

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061東京都世田谷区北鳥山2-3-9-101  
光田憲雄 TEL03-3307-2146

www.k5.dion.ne.jp/~daidogeji/  
◇229 2011.7 A4 2p

ユネスコ記憶遺産 山本作兵衛画  
・文 炭鋲記録画・文

大締一代記(16) (原作)藤本甲南  
／(著作)光田憲雄

◇230 2011.8 A4 2p  
『日本風俗畫大成』における「門

つけ」と「猿廻し」  
大締一代記(17) (原作)藤本甲南

／(著作)光田憲雄

◆地方史研究

地方史研究協議会(発売:岩田書院)  
〒112-0002東京都文京区小石川3-10-5

名著出版内 TEL03-3816-0739 年6600円  
1951年創刊

◇352 (61-4) 2011.8 A5 118p 1143円  
《大会特集I 出羽庄内の風土と歴史像

—その一体性と多様性》  
第62回大会を迎えるにあたって

常任委員会／第62回大会実行委員会  
〈問題提起〉

出羽国成立前後の庄内地域 川崎 利夫  
新史料に見る中世庄内と他地域の

交流 秋保 良  
出羽庄内は「上杉領」なり—中世

の越後と庄内をめぐる交流と地  
域感覚 長谷川 伸

近世庄内浜の漁村 前田 光彦  
庄内と最上との関係

—二つの峠道のこと 佐久間 昇  
“象潟地震”の謎—そのとき、鳥海

山は噴火したか 土岐田正勝  
三方領地替反対一揆における“一

体性”と“多様性” 岩淵 令治  
 明治期庄内の青春群像 阿部 博行  
 災害は歴史を変えるかー明治27年  
 庄内地震をめぐって 北原 糸子  
 庄内地域史の検証と再構築  
 ー実証的研究への第一歩 三原 容子  
 ワッパ騒動の研究の進展 星野 正紘  
 出羽三山信仰の諸課題 岩鼻 通明  
 第52回日本史関係卒業論文発表会  
 特別講座 地域からの発信をー  
 仲間に支えられた私の地方史研  
 究を顧みて 橋詰 茂  
 第52回日本史関係卒業論文発表会  
 参加記 小川雄／望月保宏／稲松朋子／  
 藤方博之／須田剛広／櫻庭茂大  
 動向 地域史研究  
 庄内町郷土史研究会について 小野寺 裕  
 展示批評 埼玉県立歴史と民俗の  
 博物館特別展「降嫁百五十年記  
 念 皇女和宮と中山道」を見て  
 西 光三  
 書評 地方史研究協議会第60回  
 (都城)大会成果論集『南九州の  
 地域形成と境界性ー都城からの  
 歴史像ー』 米澤 英昭  
 研究例会報告要旨 生駒哲郎／矢嶋毅之

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER

〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403  
 多田統一方 FAX03-3964-8548  
 tias3.web.fc2.com

◇89 2011.7 A4 6p

報告  
 見学会「入間市の産業遺産」の  
 概要 事務局  
 産業考古学基礎講座 第2回「泰  
 緬鉄道を調査して」の概要 事務局  
 研究会「不遇の炎 鐵道省矢口

発電所、赤羽発電所」の概要  
 事務局  
 細芳織物工場の豊田式鉄製小型動  
 力織機(Y式) 出川 和子  
 産業遺産がわが国初のユネスコの  
 「記憶遺産」へ 平井 東幸  
 2011年度第1回理事会の議事概要  
 ／2011年度第2回理事会の議事  
 概要  
 新刊紹介「学びの旅ー地域の見方  
 ・とらえ方・楽しみ方ー」 多田 統一  
 短信 産業遺産があらたに重要文  
 化財に指定など 平井 東幸  
 博物館シリーズ(2) エジソン発  
 電機ー交流以前は直流で灯した  
 照明 小野田良智  
 茨城県土浦市の赤煉瓦建築物(3)  
 赤煉瓦造の蔵(2) 八木 司郎  
 新刊紹介『日本の近代化を開いた  
 産業遺産 推薦産業遺産 1985  
 ～2010』 平井 東幸

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース

〒136-0073東京都江東区北砂1-5-4  
 (助政治経済研究所 TEL03-5857-5631  
 2002年創刊 www.tokyo-sensai.net

◇19 2011.7 A4 8p

これまでの実績を踏まえて  
 来春は開館10年目の節目です 早乙女勝元  
 東京大空襲を語り継ぐつどいー戦  
 災資料センター開館9周年 66  
 年前の夜に思いをはせて 明日  
 へつなぐ 高岡 岑郷  
 『ビジュアルブック 語り伝える  
 東京大空襲』全5巻 普及を！  
 東日本大震災 被災地の学校から  
 古里 康彦  
 東日本大震災による岩手県の戦災

資料館・戦争遺跡の被害につい  
 て 加藤 昭雄  
 語り継ぐ 来館者、まもなく10万  
 人に／今年度最初の修学旅行生  
 は高山の中学生 感想の手紙を  
 受け取りました／感想ノートに  
 記された言葉から  
 世界の子どもの平和像完成10周年  
 のつどい 絵本や絵はがき、新  
 リーフレットを作成／研究交流  
 戦争災害研究室の研究活動  
 東京大空襲・証言映像プロジェク  
 ト 築山実さんの証言映像が上  
 映されました／証言映像プロジ  
 ェクト公開研究会「日本空襲デ  
 ジタルアーカイブの可能性ー制  
 作者を招いて」  
 感想ノートから 明日に伝える／  
 ハロランさん死去

◆丸善ライブラリーニュース

〒140-0002東京都品川区東品川4-13-14  
 グラスキューブ品川 TEL03-6367-6063  
 maruzen.co.jp

◇13 2011.7 A4 16p

大阪から創造都市を発信する 佐々木雅幸  
 大学教育の転換と図書館 金子 元久  
 触発する「人間・自然・都市建築、  
 そして図書館」 鳴海 雅人  
 佐賀県立図書館 郷土資料デジタ  
 ル化の取り組み 多々良友博  
 新シリーズ[学校図書館] 学校図  
 書館を取り巻く制度と現状 今井 福司  
 世界一の学校図書館を目指して  
 明星ブランドとしての図書館づ  
 くり 鬼丸 晴美  
 貴重図書の国外流出 佐藤 道生  
 おはようございます

公立図書館の充実さに驚く 須藤 隆

◆武蔵野 武蔵野文化協会

〒362-0011埼玉県上尾市平塚976-5  
 加藤方 武蔵野頒布会 TEL048-775-6918  
 年4000円 1918年創刊

◇350 (86-1) 2011.7 A5 77p

『武蔵野』創刊93周年記念号(2)

特集・武蔵野を語る

記念講演  
 武蔵野を語る 竹内 誠  
 『武蔵野』創刊93周年のあゆみ 加藤 功  
 「総目録」活用法  
 『武蔵野』「総目録」雑感 三橋 広延  
 『武蔵野』「総目録」索引雑感 小川 一義  
 武蔵国号を探る 芦田正次郎

記念式典

会長あいさつ 坂詰 秀一  
 ご来賓のご祝辞 藤井 秀之  
 ご来賓のご祝辞 上杉 俊和  
 永年会員代表謝辞 木村 旭志

祝賀会ご挨拶

「祝賀会」開会のあいさつ 樋渡 達也  
 國寶史蹟研究会会長 八幡義信／

東京都江戸東京たてもの園園長  
 小林克／東京都公園協会常務理  
 事 小川泰和／埼玉県郷土文化  
 会会長 大園口承／政治経済史  
 学会会長 彦由三枝子

記念会事業報告 『武蔵野』創刊  
 93周年記念会開催される

御芳名一覧 功労団体・功労会  
 員・永年会員／記念会・祝賀会  
 出席者／名刺広告・寄付者／ア  
 ンケート調査報告／「地域史研  
 究一世紀『武蔵野』が総目録」

連載「武蔵野の食文化」(5) 品川  
 の筍栽培ー孟宗筍栽培記念碑 坂本 道夫

◆目黒区郷土研究 目黒区郷土研究会

〒152-0003東京都目黒区碑文谷4-15-13  
長澤英男方 TEL03-3711-3959

◇678 2011.7 B5 8p 150円

見学会記 宮野古民家自然園 山内美貴子  
自然園と岡見家(つづき) 田丸 太郎  
目黒への道・参 橋口 明子  
陸軍用地境石・三田用水境石が安

住の地を得た 平山 元也  
目黒と目と黒と(5) 目黒 英夫  
城南郷土研究協議会報告  
大田郷土の会が担当 平山 元也

郷土研だより  
落語雑記・一 はじめに 仲野 基道

◇679 2011.8 B5 8p 150円

6月の見学会記 駒場旧前田侯爵  
邸と池尻周辺を散策す 編集部  
路線バスに乗って区内案内(16)  
(黒32系統)「恵比寿～用賀線」

の内「祐天寺～五本木」 平山 元也  
アメリカ橋余聞(1) 田丸 太郎  
目黒と目と黒と(6)

「目」で始まる苗字 目黒 英夫  
目黒あの町この町 目黒の夏を彩  
るイベントが目白押し 編集部

即応態勢の防災訓練盛ん 編集部  
郷土研だより  
落語雑記・二 じゅげむ 仲野 基道

◆厚木市史たより

〒243-0018神奈川県厚木市中町3-17-17  
厚木市教育委員会文化財保護課  
TEL046-225-2060 2010年創刊

◇2 2011.7 A4 4p

「相模国厚木六勝図」(弘化～嘉永  
頃 1844～1853年) 石川鹿奈子

『厚木市史』近世資料編(6)につい  
て 片山 兵衛  
近世資料編を読むために(1)  
一はじめに 神崎 彰利

◆小田原史談 小田原史談会

〒250-0003神奈川県小田原市東町1-21-18  
平倉正方 TEL0465-34-8363 年3000円  
1961年創刊 odawara-shidan.hustle.ne.jp

◇226 2011.7 B5 28p

箱根の近代化を進めた尊徳の精神  
一福住正兄の行動を中心に 鈴木 康弘  
小田原の郷土史再発見 鏡信一刀  
流師範十二人の顕彰碑と墓碑  
(下) 石井 啓文

小田原藩浅田兄弟の敵討  
『孝貞義鑑』散策(10) 鈴木 好  
蘇我・宗茂そして曾我への一六〇

〇年の覚書(5) 市川一郎・清司  
わたしの“終戦” 杉山 潤一  
有朋と古稀庵「造園家」山縣有

朋の一面をさぐる 平倉 正  
旅のつれづれ俳句日記 剣持 芳枝  
史談再録(15) 刀工清水久義の墓

『小田原史談』第55号(昭和45  
年1月号) 中野敬次郎  
小田原史談会 小田原南町界隈史

跡散策 田中 豊  
ごあいさつ 平倉 正  
平成23年度総会報告 小田原史談会

◆かながわの民俗芸能

神奈川県民俗芸能保存協会  
〒252-0312神奈川県相模原市南区相南2-6-  
37 年1500円

◇75 2011.3 A4 21p

会長挨拶 自立の年を迎えて 石井 一躬  
事務局長挨拶 神奈川県民俗芸能

保存協会自立化へ向けて 下田 誠一  
特別寄稿

神奈川県民俗芸能保存協会の再  
出発を祝して 懸田 弘訓  
民俗芸能の意義と継承 田中 宣一

きらめくふるさと2010

かながわ民俗芸能特集  
誇りに思う郷土の芸能(かなが  
わ民俗芸能祭に出演して) 吉野 保之

かながわ民俗芸能祭出演に思う  
垣澤 勉  
かながわ民俗芸能祭「感想」 廣山 秀治  
良い経験となったイベントスタ  
ッフ 吉川 綾乃

ボランティア・スタッフとして  
今思うこと 由衛 若菜  
裏方スタッフとして得たもの 古早川佳子

「きらめくふるさと2010 かなが  
わ民俗芸能」に参加して 金子 隆一  
写真記録係のボランティアとし  
て 伊藤 昭久

きらめくふるさと2010かながわ  
民俗芸能 雑感 中藪 規正

平成22年度神奈川県民俗芸能保存  
協会表彰式

伝統を記録すること 市川 敬一  
協会表彰を受け 柏木 景子  
表彰を受けて 高橋とみ子

20年を振り返って 安藤 弘子  
表彰をいただいて 小林 静子  
民俗芸能散歩 鳥屋の獅子舞 荒井 俊明

見学会参加記 第60回全国民俗芸  
能大会見学会 松岡 敬介  
会員だより

夜明け前―柳田國男への手紙 徳山 泰子  
チャッキラコ見聞録 永田 泰祐  
私とお神楽 臼井 良子

菊名あやめ踊り復活物語 菊池 恵

郷土芸能継承のために共に一步  
を踏み出そう 関根 訪  
郷土芸能を残してゆくために一

神奈川県民俗芸能保存協会に  
期待する 山田たかし  
第13回全国獅子舞フェスティバ  
ル・飯田を見学 城所 恵子

新生「神奈川県民俗芸能保存協  
会」に期待する 鈴木 通大

民俗芸能情報「三戸のお精霊流  
し」国重要無形民俗文化財に指  
定される 事務局

平成23年度事業計画 見学会・20  
11かながわ民俗芸能祭 事務局

◆鎌倉 鎌倉文化研究会

〒248-0016神奈川県鎌倉市長谷3-11-2  
長谷寺宝物館内 TEL0467-22-6300  
1959年創刊

◇111 2011.7 A5 91p 1500円

野津本「北条系図・大友系図」の  
書写場所と鎌倉亀谷郷雪下屋形  
伊藤 一美

元禄地震・宝永富士山噴火と鎌倉  
浪川 幹夫  
いわゆる「鎌倉八景」について

長谷寺宝物館  
余録 鎌倉乃記(6)―与謝野晶子・  
寛、そして鎌倉(1) 昭和10年

(1) 坂本 俊雄  
『亀谷山記録』(8) 鎌倉古文書研究会  
『鹿山公私諸般留帳』(41) 三洲美恵子

神奈川の窓(28)  
―「地方史研究」から 井上 隆男

◆湘南考古学同好会々報

〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-  
19-104 寺田兼方方

◇124 2011.8 B5 28p

被災地にて 榊原 智之  
 醉龍愚見録(16)  
 高松塚古墳は誰のもの(11) 澤田大多郎  
 諏訪神社の勧請をめぐる片瀬の古  
 代史(3) 鈴木 和一  
 さば神社を考える(14) 西村堅一郎  
 先史時代の土器以外の容器 古要 祐慶  
 50年前の三殿台遺跡調査に参加し  
 て 澤田大多郎  
 研究集会「ヒトが住みはじめたこ  
 ろの関東地方」を聴講する 米 諄  
 特別展「三殿台遺跡発掘50年」を  
 見学して 天野 弘一  
 平成23年度6月定例会“発掘され  
 た日本列島2011” 江戸東京博  
 物館 2011年6月12日 浜野 祐之  
 三殿台遺跡での普及・啓発活動に  
 ついて 橋口 豊  
 「第6回 若手研究者を囲む勉強会」  
 の講演を聞いて 神藤 泰敬  
 平成23年度 湘南考古学同好会定  
 例総会の記録  
 新刊報告書の紹介

◆民具マンスリー

神奈川大学日本常民文化研究所  
 〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
 TEL045-481-5661 年3500円  
 ◇521 (44-5) 2011.8 A5 24p 350円  
 東日本大震災被災地における資料  
 保全活動について(続)  
 越智信也/加藤友子  
 『会津農書』にみる代掻きの民俗  
 一馬鋤を中心に 佐々木長生  
 書籍紹介 『富士塚考 統一富士  
 祭の「麦藁蛇」発祥の謎を解く』竹谷 鞆負

中 部

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文  
 化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262

◇133 2011.7 A4 20p

良寛遺墨解説(91) 「小楷詩巻」 加藤 偉一  
 良寛尊像つれづれ(95) 「村の良  
 寛サ」 燕市粟生津 長善館史  
 料館所蔵 草野克美氏作 涌井 茂  
 折々の良寛(22) 吉野山奥千本の  
 西行庵を訪ねて 長谷川 義明  
 「第34回全国良寛会総会 in 新潟」  
 盛會に 十一年振り「シンプル  
 イズベスト」をめざして  
 知事メッセージ 新潟県知事 泉  
 田裕彦/祝電 高橋道映/祝電  
 會津八一記念館顧問・秋申会  
 名誉会長 小柳マサ  
 良寛没後180年記念 良寛と文人  
 ・画人展 良寛上人から世界平  
 和へ

平成22年度会務報告/平成22年度  
 会計決算報告書/平成23年度会  
 計予算書/全国良寛会役員

良寛没後百八十記念 良寛ブロン

ズ像「良寛さん 遊ば」完成  
 除幕のお礼 柳本 雄司  
 春季役員会開催される 加藤 偉一  
 全国良寛会の歩み(2)  
 一胎動からその展開を辿る 斎藤 信夫  
 良寛 女人讃歌 素描 吉田 福恵  
 新刊紹介/会報・会誌紹介

◆石川れきはく 石川県立歴史博物館

〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1  
 TEL076-262-3236 1986年創刊  
 www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/

◇100 2011.7 A4 6p

夏季特別展「宮廷の雅展 有栖川  
 宮家から高松宮家へ」  
 館長随想 静のこと 脇田 晴子  
 催事日録/行事日程/くらし&娯  
 楽の大博覧会「みんなの昭和」  
 ご来館の皆様から寄せられた思  
 い出  
 れきはくトリヴィア  
 『石川れきはく』創刊号のころ

◆伊 那 伊那史学会

〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048  
 TEL0265-22-6017 年5500円

◇998 (59-7) 2011.7 A5 50p 500円

口絵 鷺竜峡 今村 理則  
 年表と文献・史料でたどる『飯田  
 事件』—遅れて来た未発の激化  
 事件 伊藤 昭雄  
 伊豆木小笠原家に伝わる「笠懸之  
 次第」 久保田安正  
 神坂峠を挟んである恵那郡・伊那  
 郡 久保田安正  
 アララギの巨匠・齋藤茂吉と下伊  
 那(後)—茂吉、三度の来峡と足  
 跡 鎌倉 貞男  
 戦前、小学生一年生だったころ 依田 時子  
 歴史に学ぶ伊那谷の連携  
 武田信玄の狼煙が蘇る 原 薫  
 下伊那日録(2007年3月~6月) 寺田 一雄

◇999 (59-8) 2011.8 A5 50p 500円

口絵 中央構造線の活断層露頭 松島 信幸  
 〈三六災害五十年〉  
 大鹿村大西崩れを今井邦康・積夫  
 妻から聞く 松島 信幸  
 集団キャンプで生還した人たち  
 一大鹿村北川で 松崎 千鶴  
 天龍川の氾濫—松尾地区

語り：新井順三・塩沢勉 松島 信幸  
 三六災害五十周年に寄せて 湯澤 道子  
 鉄砲水(三六災害より) 北原 倫平  
 上伊那地方事務所林務課が記録し  
 た三六災害 明石 浩司  
 海と金魚—東日本大震災 大津波  
 の予兆 京谷愛子・則幸さんの  
 インタビュー 小澤 恭子  
 現れた理兵衛堤防(2)  
 —平成22年の調査から 伊藤 修

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒396-0021長野県伊那市小沢7799-2  
 TEL0265-78-6719 年5000円

◇654 (55-7) 2011.7 A5 40p 500円

《三六災害50年特集号》  
 三六災害から五十年の歳月を経て  
 (1)—中川村滝沢・桑原・四徳 伊藤 修  
 三六災害の記憶—飯島氏・宮崎氏  
 夫妻よりの聞き取りから 大場 英明  
 「私の三六災害」北信濃にいて 山本 勝  
 『伊那路』等に見る「三六災害」  
 発生当時の記録(2) 『伊那路』編集部  
 伊那路谷「三六災」の思い出—大  
 鹿村大西山大崩落後の脱出行聞  
 書 北原 昌弘  
 高遠地震について 矢島 太郎  
 良寛さんを訪ね中国の旅(2)—良  
 寛さんは日中友好の架け橋を築  
 く 小原 洋一  
 上伊那の野外彫刻(85) 最終回  
 少年像(箕輪中学校) 吉澤 正昭  
 文化短信 明治・大正期の災害支  
 援の実例 山口 通之  
 師匠の背中(2)より(33)  
 カッコウの暦 若林 徹男  
 ◇655 (55-8) 2011.8 A5 48p 500円

《終戦特集号》

空襲と東南海地震による中島飛行機  
 機の伊那疎開と終戦 久保田 誼  
 演出ノート 伊那谷の戦争  
 二つの作品から 後藤 俊夫  
 チェルノブイリからフクシマへ 小牧 崇  
 我が家に残る戦争の記憶 山岸 貢  
 三六災害から五十年の歳月を経て  
 (2)一 中川村滝沢・桑原・四徳 伊藤 修  
 上伊那の蝶(1) ミヤマシジミ 中村 寛志  
 古文書の窓(101) 矢彦神社別当  
 神光寺、御柱祭に先立ち寄付・  
 人足等を催促する 三浦 孝美  
 師匠の背中(2)より(34)  
 土用の丑 若林 徹男

◆信濃 信濃史学会

〒390-0805長野県松本市清水1-9-607  
 TEL0263-36-1785 年8400円  
 www.shinano-shigakukai.com  
 ◇738 (63-7) 2011.7 A5 90p 900円  
 松代藩へ御預人について 仁科 叔子  
 戦後の上田紬復興のあゆみ(上) 矢嶋千代子  
 沖繩島嶼に継承される母たちの祭  
 祀と母系社会—久高島の祭祀を  
 中心にして 島田 恵子  
 信州戸隠宮本旅館蔵白澤避怪図の  
 図像的検討 熊澤 美弓  
 資料紹介 黒木祥一氏所蔵版木及  
 び雑誌『夕暮』の資料調査につ  
 いて 直井由加理  
 ◇739 (63-8) 2011.8 A5 86p 900円  
 「上毛野勢多評」成立の諸前提 関口 功一  
 紀元前二世紀の記紀神話  
 —文字を理解した弥生人 柳沢 賢次  
 戦後の上田紬復興のあゆみ(下) 矢嶋千代子  
 仏法の渡来年次をめぐる一視点  
 (下) 石川 勝義

総会報告 信濃史学会2011(平成  
 23)年度定期総会 事務局

◆長野 長野郷土史研究会

〒380-0905長野市七瀬南部14-7  
 TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊  
 www.janis.or.jp/users/kyodoshi/  
 ◇278 2011.8 A5 48p 700円  
 武井神社の御柱行列大絵馬  
 「極付 国定忠治」五幕七場(行  
 友季風・大正8年作)より 権堂  
 の場面(3) 水野 茂  
 小林計一郎の原点(7) 小林計一郎  
 渡辺敏先生伝(5) 小林計一郎  
 歴代本因坊と信州(8) 望月 保宏  
 信州の以後番付 中田 敬三  
 ローカルの再審—近代の終焉と新  
 しい社会の創造(上) 築山 秀夫

◆長野県民俗の会通信

〒399-7104長野県安曇野市明科七貴6535-5  
 巻山圭一方 TEL0263-62-6535 年5000円  
 www.janis.or.jp/users/folk/  
 ◇224 2011.7 B5 8p  
 アウトロー伝説と花街権堂 伊藤 友久  
 『諏訪大明神絵詞』と田村麻呂伝  
 説 木下 守  
 葉書でつぶやくコーナー 大震災  
 通信(2)—「お互い様」はどこへ  
 行った? 倉石あつ子  
 第177回例会(夏季民俗調査)のお  
 知らせ 事務局

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

民俗文化研究所  
 〒438-0086静岡県磐田市見付3532 TEL0538  
 -32-3546 www.4tokai.or.jp/child-c-j/  
 ◇49 2011.6 A4 4p

西浦田楽英郷別当聞き(1)  
 浜松市天竜区水窪町 吉川 祐子  
 ◇50 2011.7 A4 4p  
 西浦田楽英郷別当聞き(2)  
 浜松市天竜区水窪町 吉川 祐子

◆古城 静岡古城研究会

〒426-0134静岡県藤枝市滝沢2690-3  
 平井登方 TEL054-639-0648 1974年創刊  
 ◇56 2011.7 B5 126p  
 大篠山城(見月山山系)の遺構と抗  
 争 水野 茂  
 戦国期「境目の地」における土豪  
 屋敷の様相—北駿地域の事例を  
 中心に 望月 保宏  
 蒲原城布橋伝説をめぐる—「城  
 郭の精神史」の準備として 川村 晃弘  
 駿河狩野介 滅亡の背景  
 —享徳の乱後の関東と駿河国 大塚 勲  
 今川氏真の生涯 大塚 勲  
 東国の中世城郭の様相についての  
 覚書—城郭の年代観と枠組みを  
 中心に 柳下 晃一  
 『静岡県の城跡—中世城郭縄張図  
 集成—』(中部・駿河国版)編  
 纂に伴う調査ノート(1) 内野  
 城、蒲原城北の山地調査、高橋  
 殿屋敷、吉川[滝]氏屋敷、土岐  
 氏屋敷、小泉氏屋敷、南条氏屋  
 敷、見城[見糸]氏屋敷、青島氏  
 屋敷[池田屋敷]、花沢の狼煙山、  
 青羽根城、塩郷砦  
 城館レポート(10年) 編集部

◆静岡県近代史研究会会報

〒432-8011浜松市中区城北3-5-1 静岡大学  
 情報学部 荒川章二研究室内 年4000円  
 ◇394 2011.7 B5 4p 200円

7月例会レジュメ1 高度経済成長  
 期における障害児の親たちの運  
 動—「静岡県手をつなぐ親の会」  
 をめぐって 鈴木 雅子  
 7月例会レジュメ2 温泉観光地の  
 発展と伊豆半島の変容 高柳 友彦  
 7月例会レジュメ3 占領と熱海—  
 R A Aと性管理を中心に 平井 和子  
 時評 被爆と第五福竜丸 小池 善之  
 ◇395 2011.8 B5 6p 200円  
 新刊紹介 入江曜子『思想は裁け  
 るか 弁護士・海野普吉伝』(筑  
 摩書房、2011年) 橋本 誠一  
 沖繩県民「丹那トンネル」を掘る  
 加藤 好一  
 駿州から出た幕臣水野正左衛門の  
 墓誌 樋口 雄彦

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101  
 homepage3.nifty.com/s-folklore/  
 ◇140 2011.7 A4 6p  
 平成23年度総会・大会報告 松田香代子  
 総会議事資料 活動報告・活動計  
 画/平成22年度収支決算報告/  
 平成23年度予算案  
 第3回ジュニアのための民俗学講  
 座 参加者募集 ヘソもちを作  
 って、お月見をしよう!—いろ  
 いろなお月見の団子を作ってみ  
 よう  
 シリーズ食(16)  
 伊豆西海岸の普段の食 外立ますみ  
 静岡の民俗語彙・方言短信 オオ  
 リョウ(大漁)・フナオビヤア 外立ますみ  
 博物館情報/受贈資料・刊行物紹  
 介

◆あつた 熱田神宮宮庁  
〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1  
TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp

◇231 2011.7 A5 25p  
熱田社の和歌と文学(32)  
一天野信景の名所考証から 八木意知男

◆東海近代史研究 東海近代史研究会  
〒482-0044愛知県岩倉市宮前町2-75 西形久司方 TEL0587-66-7569 1979年創刊

◇32 2011.7 B5 130p  
巻頭言 歴史教員の使命 北折 幹朗  
遠州秋葉山の神仏分離における神階「正一位」問題 田村 貞雄  
愛知県における第一回衆議院議員選挙(上) 稲田 雅洋  
“帝国”体制下の都市構想と地域アイデンティティ―「大名古屋論」をめぐって(2) 岡田 洋司  
尾・三地域のお札降りを追う 堀崎 嘉明  
「濃密な戦争像」  
一司馬遼太郎と大江志乃夫 田村 貞雄  
シリーズ・地域に根ざし平和を語りつぐ(2) 模擬原爆パンプキンの追跡から  
春日井の戦争を記録する会・金子 力  
歴史の小径 冬のドイツ戦争の記憶を訪ねて 西形 久司  
受贈書籍紹介/受贈誌紹介

◆文化誌 碧 碧の会  
〒446-0013愛知県安城市東別所町戌新畑1-53 河村方 TEL0566-76-0204  
2001年復刊

◇29 2011.6 B5 46p 500円  
特集 東日本大震災に寄せて  
地震・津波・原発ノート 米川 五郎  
天災と人災 小谷野錦子

東日本大震災に思う 八重田和久  
「東日本大震災に寄せて」を編集  
して 砂村 洋  
水彩画 終焉を生きる 松谷 慶子  
詩  
虐げられたのはお前だけじゃない  
い 八重田和久  
ある錬金術師 砂村 洋  
血・砂・砕かれた礫形像 砂村 洋  
ローベル・デスノスの庭―ある  
いは「庭にある豊かなギター」 砂村 洋

民俗・食文化  
一休寺納豆について 粕渕 宏昭  
エッセー  
映画「キャタピラー」が訴える  
もの 八重田和久  
古街道・浜街道 久世 郁子  
介護・福祉 「株式会社 Onziii Act(オンジーアクト)」のあゆみ 長谷川昌弘/中田賢芳/堀山貴之

◆まつり通信 まつり同好会  
〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25  
TEL0567-37-0441 年5000円

◇554 (51-4) 2011.7 B5 8p 600円  
埼玉・南畑の獅子舞 石川 博司  
交流見学会の記録 隠岐国分寺蓮華会舞を見て(上) 清水 昭男  
表紙写真ことば うちわ祭り 渡辺 良正  
平成23年民俗芸能学会大会・まつり同好会50周年記念大会の準備  
進む  
受贈資料紹介

◆史料 皇學館大学史料編纂所報  
〒516-8555伊勢市神田久志本町1704  
TEL0596-22-6462 1978年創刊

◇230 2011.6 B5 24p 300円  
昇明元年の「倭国遣使献方物」をめぐって―稲荷山古墳鉄剣銘の辛亥年は四七一年か 荊木 美行  
藤原豊成について 一栄原論文について 大友 裕二  
いにしへの伊勢(10)―絵葉書・古写真に見る戦前の宇治山田 山田 修司

近畿

◆近江学 近江学研究所紀要  
〒520-0248滋賀県大津市仰木の里4-3-1  
TEL077-574-2118 www.seian.ac.jp/omi/

◇1 2009.1 AB 80p 1800円  
『近江学』の発刊にあたって 木村 至宏  
自然レポート 命ある風景 今森 光彦  
近江学概論―湖と道と山 木村 至宏  
近江の宗教 大津絵の誕生と三井寺別所の宗教文化圏 福家 俊彦  
近江の歴史 近世近江の宿場町と街道―「まなざし」の視点から 水本 邦彦  
近江の美術 湖北の観音像―平安前期の作例を中心に 高梨 純次  
近江の民俗 水と祭―近江における井堰灌漑地域の祭祀構造に関する試論2 和田 光生  
対談 里山―循環する魂のフィールドワーク 大岩剛一/蔭山歩

講座 [近江学]/[近江学研究所]  
概要  
◇2 2010.1 AB 80p 1800円  
自然レポート 水のある風景 今森 光彦  
近江の山の文化史 木村 至宏  
近江の宗教  
比叡山三塔諸堂の成立と発展 武 覚超  
近江の民俗  
民俗伝承の「危機」と民俗学 米田 実  
近江の歴史 「土田庄田地注文」か

らみた安吉勝氏 大橋 信弥  
近江の美術 信楽焼の概説 大槻 倫子  
インタビュー 近江を語る 今関 信子  
対談 酒蔵一命の酒のふるさと  
上原忠雄・美重子・績/大岩剛一  
講座 [近江学]/[近江学研究所]  
概要  
◇3 2011.1 AB 92p 1800円  
自然レポート  
“やまおやじ”のいる風景 今森 光彦  
琵琶湖の呼称の由来について 木村 至宏  
近江の思想  
近江商人の精神を考える 宇佐美英機  
近江の生活 琵琶湖の食 堀越 昌子  
近江の歴史 近江の城物語―最新の調査成果より 中井 均  
近江の意匠 近江商人の前垂れ考 藤澤 武夫  
近江の人物 小堀遠州と撰河泉 太田 浩司  
インタビュー 水辺を描く 岡田 修二  
対談 ヨシ原一命を育む水辺 竹田勝博/大岩剛一  
講座 [近江学]/[近江学研究所]  
概要

◆湖国と文化 (財)滋賀県文化振興事業団  
〒520-0044滋賀県大津市京町3-4-22  
TEL077-522-8369 年2520円  
www.shiga-bunshin.or.jp

◇136 (35-3) 2011.7 B5 92p 600円  
《特集 伊吹山の現在(いま)》  
色とりどりの花で着飾る近江と琵琶湖を守護する巨人 中野 剛  
山全体が大きな里山 伊吹山と人との関わり 高橋 順之  
貴重な石灰岩の山 採掘跡地の植生を復元 編集 室  
雨乞いの山・伊吹山 鐘を担ぎ上

げて雨乞い 札に太鼓踊り奉納  
中島 誠一

幻の伊吹大根 純度の高い種目指  
し30年以上取り組む 木之本町  
の山内喜平さん

中世の寺院や戦国時代の城跡をた  
どるピークから見る伊吹が壮観  
／伊吹の麓で名水巡り

おうみ(近江)おうみ(多見)歩く(2)  
金勝(こんぜ)アルプス 竜王山  
加藤 賢治

四季をめぐる健康食 夏編 暑い  
夏を元気に乗り切るために 武田 律子

繊維力 滋賀の織物—その技と感  
性(3) 麻ちぢみの粋(いき) 森下あおい

興味津津 私の近江(12) いのち  
を繋ぐということ—震災とその  
後 MOTOKO

現代滋賀ブランド(5) ポート王  
国滋賀 高校クルーが全日本新  
人選手権優勝 琵琶湖・瀬田川  
で信じ合う精神培う 阪口 伊織

編集長対談 湖に生きる(41) ロ  
ボットクリエイター 高橋智隆  
さん 根津眞澄／馬場和実

滋賀文化事情 文化遺産・近江八  
景を生かそう 近江は湖の国・  
山の国・道の国 対談から探る  
滋賀の文化とこれから 編集室

50人の行者が「夏安居」修験の  
場・葛川明王院を訪ねて「か  
くれ里」シリーズ番外編 いかいゆり子

近江人物伝(9) 蒲生氏郷 蒲生  
家の名声をあげ大大名に上り詰  
めた文武兼備の武将 木村 至宏

湖国街・コミ(3) 水を制するも  
のは、明日を制す“たくましが、  
たのもしが”—これからの『滋

賀力』(ポテンシャル) 藤澤 武夫

湖国レディス・アイ(25) 2人の  
師匠との出会い 写真を通して  
人生を学ぶ 藤村 周子

滋賀の山を食べる(2)  
ありがとうと花を大地に返す 安田 陽介

近江の海 おーい老いと呼んでみ  
る(25) 最終回 さんば 熊谷栄三郎

北から南から  
鈴木強／寺田直子／源野孝彦／奈良  
薫／清水貴子／山本武人／編集室

新刊近刊 琵琶湖の北に連なる山  
草川啓三／まんまる月夜の竹  
生島 今関信子／シネマ見どこ  
ろ 畠中千畝・山田久美子・清  
水宏昭・田中健

滋賀の伝説と民話「そば食い木像」  
渡邊守順／齊藤裕子

談話室(5) 変わりゆく滋賀県の  
チョウの分布 八尋 克郎

あきとせつ(2)  
湖上の花火 藤本恵子／中西文彦

◆民俗文化 滋賀民俗学会  
〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5  
TEL0740-36-1414 年4800円  
sigaminzokufc2web.com

◇574 2011.7 B5 12p 400円

島国の日本人に自由はなかった—  
明治維新から敗戦まで考察して  
思う 菅沼晃次郎

戦時中の出版物(7)  
『気象と国民生活』 吉岡 郁夫

湖水の水難伝承(1)—湖底の西浜  
村とめのと浜観音 馬場杉右衛門

佐和山城包圍戦と安土城の石垣墨  
書の一考察 長谷川博美

小谷落城と浅井一族の伝承(9)—

京極高次の妻と將軍秀忠の妻お  
江 馬場杉右衛門

滋賀の石造文化財(中世)の概観に  
ついて(14) 福澤 邦夫

古い掲示板について 柏測 宏昭

おもちゃのピストルについて 柏測 宏昭

ハンモックについて  
—坂田郡近江町 柏測 宏昭

講師 旭堂南陵(二代目)の聞き  
書き一代記(3) 菅沼晃次郎

◇575 2011.8 B5 12p 400円

万物の霊長といわれる人類が何故  
お互いに争うのか—一人の精神は  
永遠に継承され進化をする 菅沼晃次郎

湖水の水難伝承(2)—「大難」と山  
椒魚と豊菊姫の墓 馬場杉右衛門

小谷落城と浅井一族の伝承(10)  
—白餅大名高虎と浅井一族 馬場杉右衛門

磯山城址の熨斗分銅片陶片につい  
て 長谷川博美

長浜市のホテル調査と民間伝承  
馬場杉右衛門

滋賀の石造文化財(中世)の概観に  
ついて(15) 福澤 邦夫

気付く心が大切 田中 春二

火箸について 柏測 宏昭

不思議な独楽について 柏測 宏昭

アイスキャンディーの家庭用製造  
容器について 柏測 宏昭

講師 旭堂南陵(二代目)の聞き  
書き一代記(4) 菅沼晃次郎

◆黄檗文華 黄檗山万福寺文華殿  
〒611-0011京都府宇治市五ヶ庄三番割34  
TEL0774-33-1199 1973年創刊

◇130 2011.7 B5 326p

『黄檗文華』第130号題字 岡田 亘令

『黄檗文華』発刊に寄せて 浅井 聖道

惜字紙の俗とその流伝 長谷部幽蹊

黄檗僧独湛筆 廬山十八高賢図  
—黄檗山獅子林院所蔵 錦織 亮介

了翁禅師と秋田蘭画 今橋 理子

高田敬輔の画業  
—黄檗絵画との接点 國賀由美子

黄檗山万福寺所蔵・土佐光成筆「後  
水尾法皇像」について—法皇へ  
の追慕 万福寺と土佐派の伝統  
藤元 裕二

隠元禅師の人格について 林 観潮

隠元禅師語録について(3) 大槻 幹郎

伊豆大仁の黄檗廃寺・高勝寺につ  
いて 石渡 吉彦

国内外の著作にみる河口慧海(3) 高山 龍三

河口慧海著「黄檗実事録」解題(2)  
補遺「明教新誌」(1)／補遺「明  
教新誌」に見る河口慧海の原論  
(1) 岩田 昂

西夏仏教文献の中原流伝に関する  
—考察—麗江土司・木氏と徐霞  
客とのかかわりを中心に 野川 博之

萬福寺に建立された大家名の墓碑  
考察 秋元 茂陽

追悼 伊藤正先生 富谷 弘

黄檗宗萬福寺の伽藍建設とその大  
工棟梁秋篠家について 小川 温雄

黄檗宗に関する記述について 田中 智誠

日本華僑社会に残された中国文化  
—函館中華会創立100周年 小川 正樹

水陸法会の歴史的沿革と儀礼の構  
成についての研究—「中国仏楽  
研究シリーズ」の三 周 耘

平成21年度事業報告

◆京都市政史編さん通信  
京都市政史編さん委員会  
〒602-0867京都市上京区寺町通丸太町上る

松蔭町138-1 京都市歴史資料館内  
TEL075-241-4312 city.kYoto.jp/somu/rekishi/  
◇41 2011.7 A4 8p  
幕末の鴨川水害と鴨川浚計画—西  
町奉行浅野長祚と元東町奉行与  
力平塚飄塚との関わりを中心に  
鈴木 栄樹  
『京都市政史 第1巻』を読んで 瀧本 章

◆京都民俗 京都民俗学談話会  
〒603-8301京都市北区紫野北花ノ坊町96  
仏教大学文学部 八木透研究室気付  
TEL075-491-2141 年4000円 1984年創刊  
◇28 2011.3 A5 258p  
ウブメンに添える小石  
—新生児を守る避邪の方法 武笠 俊一  
無宗教家族葬の実態と歴史的位置  
付け 林 英一  
奈良県におけるノガミ行事とダケ  
ノボリの研究—稲作環境および  
農事暦との関連性からみた稲作  
儀礼 藤本 愛  
早池峰神楽における「神楽由来書」  
と「言い立て本」 中嶋奈津子  
加太淡島神社の歴史伝承—歴史的  
正当性の所在と「淡島信仰」 菅原 千華  
『前川家コレクション』にみる女  
性と子供たち—カナダ・バンク  
—バー島西岸の日本人 河原 典史  
研究ノート  
首途八幡宮にみる神仏分離と再  
興 村山弘太郎  
京都忠霊塔と霊山観音—東山・  
霊山山麓における戦死者祭祀  
をめぐる 橋 尚彦  
宇治大幣神事と縣祭の祭祀組織  
内田みや子  
城崎秋祭礼考

湯の街祭事の完成 柴田 久徳  
手作りの「祭」を創り出す—「淡  
路瓦四百年祭」を通じた地域  
社会見直しの試み 倉田 誠  
書評  
真野純子著『宮座祭祀儀礼論—  
座と頭役の歴史民俗学的研究  
—』 渡部 圭一  
崔杉昌著『地域祭祀の日韓比較  
民俗論』 森本 一彦  
浦西勉著『仏教と宮座の研究—  
仏教伝承文化論考—』 橋本 章  
2010年度京都民俗学会談話会報告

◆史迹と美術 史迹美術同致会  
〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入  
西大路町146 中西ビル内  
FAX075-441-3159 年8000円  
◇816 (81-6) 2011.7 A5 34p 915円  
浜田杏堂の書画作品(上) 村上 泰昭  
鬼瓦百選(96) 小林 章男  
風水研究(6)  
青島先生『葬経』和訳(上) 寺本 健三  
新資料紹介 大津市下仰木東光寺  
の建永二年銘弥勒如来医師佛 松永 修輔  
第958回例会  
南河内地方の文化財を訪ねて 松永 修輔  
◇817 (81-7) 2011.8 A5 36p 915円  
善光寺信仰の展開(3)—中世勧進  
聖と“分身”の研究を中心とし  
て 小野澤 眞  
『一遍上人絵伝』に描かれた四天  
王寺の壁画 加藤 繁生  
鬼瓦百選(97) 小林 章男  
本会創立80周年記念祝賀会記録  
記念祝賀会/記念講演「西本願  
寺の建築について」櫻井敏雄先  
生/協賛者・参加者名簿/会計

報告/写真・アルバム  
第959回例会  
本願寺の建築と庭園 丸山 貞  
◆史談福智山 福知山史談会  
〒620-0884京都府福知山市堀495-3  
塩見昭吾方 TEL0773-22-7546  
◇706 2011.1 B5 4p  
コラム 市民から一時借入れた  
市の財政 塩見 昭吾  
福知山城見聞余滴 城址での出会  
い(昭和59年の手記から) 足立 悦夫  
史談会会員による最近の著述(本  
・冊子)の紹介『堀村の歴史』  
塩見昭吾氏編著、『一宮神社  
創建千三百年記念誌』一三〇〇  
年記念誌編集 横山昭永氏総括  
他編著、『天正十年時は今』明  
智光秀公関係錦絵図録 岡部一  
稔氏編著図録  
◇707 2011.2 B5 4p  
平成23年度 福知山史談会総会報  
告(編集者より)  
記念講演「明智光秀の丹波攻めと  
赤井一族」芦田岩男氏 大槻 伸  
◇708 2011.3 B5 4p  
東日本大震災のお見舞い 福知山史談会  
「工匠能勢清助」について知りえ  
たこと 増田 信武  
◇709 2011.4 B5 4p  
平成23年度春の例会—春の歴史散  
歩「旧城下町の史跡紹介した看  
板を巡る」(編集者より報告)  
コラム ほた餅、春は牡丹餅・秋  
はお萩 塩見 昭吾  
◇710 2011.5 B5 6p  
北近畿を訪れた名古屋の商人の旅  
(1) 嵐 光激

コラム 「天田村」から「大字天  
田」に改名 塩見 昭吾  
◇711 2011.6 B5 8p  
北近畿を訪れた名古屋の商人の旅  
(2) 嵐 光激  
コラム  
牡鹿半島、5.3メートルずれる 塩見 昭吾  
コラム 映画「黒い稲妻」 塩見 昭吾  
◆都藝泥布 京都地名研究会通信  
〒611-0031京都府宇治市広野町宮谷110-15  
糸井通浩方 TEL0774-44-7636 年3000円  
www.geocities.jp/Kyotochimei/  
◇37 2011.7 A4 7p  
平成23年度京都地名研究会・総会  
報告  
第10回十周年記念講演会報告  
講演1 地名が喚起するもの—  
万葉学徒の妄言 上野誠 齋藤 幸雄  
講演2 地名の二分化—和名類  
聚抄の地名を中心に 蜂矢真  
郷 笹川 博司  
地名随想 音仮名地名のこと 梅谷 繁樹  
研究会発足十周年を迎えて 吉田 金彦  
京都地名研究会十周年記念地名フ  
ォーラム(第31回)亀岡/2011年  
総会・報告/会員の著作紹介  
山寄泰正著『信長・秀吉、京の  
城と社寺』  
◆立命館大学国際平和ミュージアムだより  
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1  
TEL075-465-8151 1993年創刊  
www.ritsume.ac.jp/kic/a06/  
◇53 (19-1) 2011.8 A4 24p  
スポット ミュージアムの所蔵品  
(50) 關東軍記念寫真帖  
巻頭つれづれ 次世代へのお詫び

安齋 郁郎  
館長だより 「3.11」以降 私たちはどこへ向かうのか  
高杉 巴彦  
ここが見どころ  
「平和」の善用のために  
加國 尚志  
運営委員リレー連載  
災害予知システムと平和  
原田 史子  
ミュージアムおすすめの一冊 畑谷史代著『シベリア抑留とは何だったのか—詩人・加藤吉郎のみちのり』  
君島 東彦  
第7回国際平和博物館会議に参加して  
ミニ企画展開催報告(2011年2月～6月)  
事業報告 2011年度春季特別展 世界の187の顔／特別企画 写真パネル展 東日本大震災の現場から・安齋郁郎名誉館長、福島原発被災地に行く／職場体験受け入れ「行き方探究・チャレンジ体験」／NGOワークショップ開催／夏休み親子企画「へいわ」ってなに?? 2011/『カティンの森』DVD上映とレクチャー／小中学校教員対象下見見学会2011／第5回国際平和・人権連続セミナー  
日本平和博物館会議加盟館の紹介(1) ピースおおさか(大阪国際平和センター)

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報  
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425  
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円  
◇283 2011.7 B5 14p  
鶴原荘の領主佐竹氏の文書紹介(2) —東京大学所蔵小笠原文書

の佐竹宗三書状・続 廣田 浩治  
和泉の中世城跡(1) 井田 寿邦  
2010年を振り返る 事務局  
◇284 2011.8 B5 12p  
佐野浦の漁業(1)  
先祖・鎌与三の誉れ 播磨谷慶三  
(株)むかしの歴史(1) 向井新／北山理  
和泉の中世城跡(2) 井田 寿邦

◆WEAVE 『貝塚市の70年』編集だより  
貝塚市教育委員会  
〒597-8585大阪府貝塚市島中1-17-1  
TEL072-433-7125 2010年創刊  
◇4 2011.7 A4 4p  
編集だより速報 第3回「地図な  
どから読み解く貝塚 その2」  
終戦後の復員者  
戦後復興と公営住宅

◆大阪歴史懇談会会報  
〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2  
TEL06-6931-1081 年5000円 1984年創刊  
blog.goo.ne.jp/rekisitannbou/  
◇323 (28-7) 2011.7 B5 12p  
浪速今昔百景(6)  
法楽寺(田辺のお不動さん) 川村 一彦  
6月例会報告(第298回)「坂本城の復興を目指す活動」—比叡山・坂本の歴史 天田省三氏／会員講座(第3回)「川村清兵衛の日記より」—お庭番の生活 磯崎素子さん  
6月見学会報告 貝塚市内町と旧商家郡を訪ねて 久保 敏博  
東日本大震災との遭遇日誌 松坂 定徳  
◇324 (28-8) 2011.8 B5 12p  
浪速今昔百景(7)  
愛染さん(勝鬘院) 川村 一彦

7月例会報告(第299回)「江戸時代の大阪武士の行き方」—城代から蔵屋敷役人まで 八木滋氏／古文書講座(第128回)「大坂川口大つなみ混雑記」—嘉永七年寅十一月五日暮六時 石川道子先生  
東日本大震災との遭遇日誌 五ノ二(陸前高田にて)／六(過去の津波) 松坂 定徳  
宇治と伏見 山崎 保雄

◆河童通心 和田寛  
〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327  
TEL072-251-2586 年2400円  
◇331 2011.7 A5 26p  
河童の文化史 平成期(12) 和田 寛  
◇332 2011.8 A5 22p 200円  
河童の文化史 平成期(13) 和田 寛  
「河童文庫」増加図書目録

◆近畿文化 近畿文化会  
〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13  
上本町YUFURA 7階  
TEL06-6775-3686 年2200円  
◇740 2011.7 A4 8p 300円  
大峯山へ分け入った人々 菅谷 文則  
最後の大阪仁輪加師・二代目一輪亭花咲 古川 綾子  
◇741 2011.8 A4 8p 300円  
柏原市の話題を集めて 石田 成年  
奈良県中南部の仏像 神田 雅章

◆除痘館記念資料室だより  
(助)洪庵記念会除痘館記念資料室  
〒541-0042大阪市中央区今橋3-2-17  
緒方ビル TEL06-6231-3257 2010年創刊  
◇3 2011.7 A4 6p

ジェンナー博物館を訪ねて—ジェンナーの故郷、パークレイの思い出 加藤 四郎  
丹波元禮組合宛ての大阪種痘館「分苗免状」について 古西 義磨  
新出の塩野屋宛て「痘瘡済証」について—除痘館「痘瘡済証」の意義と役割 浅井 允晶  
緒方洪庵生誕200年記念『大阪の除痘館』(改訂・増補版)刊行に寄せて 緒方 高志  
野呂家資料について 古西 義磨  
尼崎町「除痘館跡」記念銘板について 川上 潤  
芝哲夫先生の死を悼む 米田 該典  
新刊紹介 洪庵記念会除痘館記念資料室編 緒方洪庵生誕200年記念『大阪の除痘館』(改訂・増補版)

◆つどい 豊中歴史同好会  
〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11  
山口久幸方 TEL06-6857-4959  
homepage2.nifty.com/toyonakarekishu/  
◇282 2011.7 B5 22p  
2010年の考古学界 森岡 秀人  
三宅・川西・河合の史蹟を訪ねる 野村 武司  
出雲國造の神賀詞 野田 昌夫  
読書室  
古墳とヤマト政権 白石太一郎  
◇283 2011.8 B5 14p  
四、五世紀のヤマト政権と渡来人 水谷 千秋  
今城塚古墳と古代歴史館 松本みどり  
読書室『図説 地図とあらすじでわかる!倭国伝』宮崎正勝監修

◆神戸史談 神戸史談会  
〒654-0151神戸市須磨区北落合4-26-6

佐藤憲太郎方 TEL078-793-5348  
年3000円 1926年創刊  
◇308 2011.7 A5 44p  
東日本大震災に思う 神戸史談会会員一同  
「求」の塚の考察(2)  
一都賀と都祁 どいかずこ  
神戸に眠る関谷清景・初代地震学  
教授 飯塚 修三  
会長挨拶要旨—新年例会から 事務局(佐藤)  
生田神社社家から見た生田神社と  
神戸(高橋暢雄氏)—新年例会か  
ら 事務局(佐藤)  
戦前の神戸風景(榊田輝郎氏)  
—3月例会から 事務局(佐藤)  
なつかしの須磨海岸  
—3月例会から 辻 正彦  
伝承を訪ねるバス探訪記  
—4月例会から 佐藤憲太郎  
「丹後方面バス探訪旅行」について  
—4月例会から 服部 晃  
舞子の近代建築探訪  
—5月例会から 佐藤憲太郎  
舞子浜いまむかし  
—播州名所巡覧図絵から 田中 正文  
神戸史談会事業報告

◆神戸大学史学年報 神戸大学史学研究会  
〒657-0013神戸市灘区六甲台町1-1  
1986年創刊 www.kobe-u.ac.jp/~shigaku/  
◇26 2011.6 A5 81+26p  
無住道暁における禪の意義 新見 克彦  
初期小作争議への対応策と系統農  
会の主体性—兵庫県における土  
地利用組合奨励事業の成立過程  
を中心に 浅利 文子  
〈旧藩勤王派中心史観〉の成立と展  
開—姫路を事例に 前田 結城  
研究ノート EM7709(JG II 21161)

とランプトライのディオニュシ  
ア祭 竹内 一博

◆撰播歴史研究 撰播歴史研究会  
〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12  
TEL079-442-0658 1986年創刊

◇55 2011.7 B5 6p  
特別寄稿 菅江真澄は国学者に非  
ざるの考 新野 直吉

◆西宮文化協会会報  
〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17  
西宮神社内 TEL0798-33-0321

◇520 2011.7 B5 8p  
7月行事 映画鑑賞会 野村監督  
作製 記録映画 イサム・ノグ  
チのアトリエ/野村純一監督  
映画よわもやま話  
今なお心に残る本 川口平三郎  
回想記(2) 吉井 貞俊  
東海道新景観(14) 吉井 貞俊

◇521 2011.8 B5 8p  
夏季展覧会 桂林図巻展覧会  
今なお心に残る本(続編) 川口平三郎  
回想記(3) 吉井 貞俊  
東海道新景観(15) 吉井 貞俊

◆大美和 大神神社  
〒633-8538桜井市三輪 TEL0744-42-6633  
www.oomiwa.or.jp

◇121 2011.7 B5 76p  
暑中ご挨拶 鈴木 寛治  
中世の三輪山平等寺と大和の霊山  
・修験 宮家 準  
三輪山セミナー講演録 大和・纏  
向遺跡 三十八年目の建物群 石野 博信  
人麻呂が見た巻向 村田右富実  
古代の上津道 中村 太一

茅原大墓古墳の調査 福辻 淳  
第40回「神道国際友好会宗教事情  
視察研修」ローマ・バチカン市  
国を訪問して 南 博

◆熊野 紀南文化財研究会  
〒646-0024和歌山県田辺市学園6-3  
濱岸宏一方 TEL0739-25-0657  
年3000円 1969年創刊

◇140 2011.5 A5 93p  
近世田辺の追放刑序説 芝 英一  
南方熊楠の記憶伝説 雲藤 等  
改訂版・中瀬喜陽編『南方熊楠書  
簡 平田寿宛宛モノ』(下)  
八草の滝に関して 小坂橋 淳  
戻ってきた行者像、戻らぬ愛洲氏  
の武者像 吹揚 克之  
部落史素描(3) 第二次世界大戦  
後の紀南で起きた最初の差別事  
件 藤井 寿一  
池田孝雄氏の研究業績を回想する  
河瀬 健太

郷土関係新刊紹介  
『熊楠の森—神島』を読む 濱岸 宏一  
文化財ニュース/会合メモ

中国・四国

◆宇喜多家史談会会報  
〒700-0826岡山市磨屋町6-28 光珍寺内  
TEL086-222-2028 年2000円 2002年創刊

◇39 2011.7 A4 10p  
平成23年度総会記念講演  
宇喜多秀家概説 大西 泰正  
関係史料からみた妙善寺合戦(前  
号継承)—主に古伝承の検討を  
通じて 森 俊弘  
物語直家記伝 乙子の城 第11回  
相克(2) 山重十五郎

平成23年度 宇喜多家史談会総会  
総会 石渡 隆純

◆広郷土史研究会会報  
〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4  
呉市広公民館内 TEL0823-71-0706  
1998年創刊

◇104 2011.7 A4 24p  
第66回終戦記念日を迎えて 上河内良平  
沖縄の空に散った戦友を想う 大之本英雄  
我が青春の思い出 第十一海軍航  
空廠と第五期海軍工作科予備補  
修生 上本 繁美  
藤田家文書 第Q章 藤田家財産  
目録・起業資料集と関連文書  
Q-1広島水力発電所基本資料  
(10) 広郷土史研究会古文書部会  
計報 矢口一美氏・檀正二氏 上河内良平  
秘蔵品紹介 広島海軍工廠将校クラ  
ブの木製銘々皿 上河内良平  
古文書部会の報告/平成23年度総  
会報告/例会の主な感想/平成  
23年度夏の歴史展示会/広地区  
催物案内/県史協福山地方大会  
開催案内/例会報告

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会  
〒723-0062広島県三原市本町1-9-27  
TEL0848-62-2935

◇244 2011.7 B5 12p  
今月の各地 六本山の愛称のいわ  
れと埋蔵金 松田 治三  
まるで源氏物語のような屏風絵 鈴木 健次  
朝鮮出兵と小早川隆景 大本 静人  
浄瑠璃本『みはら物語』漢字転換  
文(6) 福岡 幸司  
角屋と上月氏(完結編) 上田茂/大谷和弘

◇245 2011.8 B5 12p

今月の各地 震災に想う 大谷 和弘  
朝鮮出兵と小早川隆景(2) 大本 静人  
浄瑠璃本『みはら物語』漢字転換  
文(7) 福岡 幸司  
三原英学史考(6) 田邊 達雄

◆徳山地方郷土史研究

徳山地方郷土史研究会  
〒745-0071山口県周南市岐山通2-7  
周南市立中央図書館内 1979年創刊

◇32 2011.3 A5 76p

特別講演 坂本龍馬と下関一薩長  
和解・同盟における長府藩の役  
割を中心に 古城 春樹  
有形文化財に指定された周南市長  
公舎の沿革―旧徳山第三海軍燃  
料廠・廠長官舎 田村 貞雄

周南地方自然災害史(気象災害の  
部)―周南地方自然災害綜合年  
表の作成 小林 省三

竹島古墳と邪馬台国(4)  
―竹島古墳の出土品 西村 修一

徳山藩史研究者・兼崎茂樹につい  
て(1) 兼崎 人士  
史料紹介

「中村左平手控写」を読む 弘中 榮二  
探訪記

「毛利荘」と「児玉源太郎ゆか  
りの地」を訪ねて 矢野 定

「下関歴史探訪」 吉成 二郎  
晩秋 長崎を巡る 松永 恵子

会のあゆみ(32)／会報  
小川宣前会長を偲ぶ 田中 賢一

◆史窓 徳島地方史研究会

〒779-3233徳島県名西郡石井町石井字石井  
1071 金原祐樹方 TEL088-674-2806

◇41 2011.3 A5 72p 1500円

《特集 城下町徳島研究の現在》  
城下町徳島の成立と阿波九城制の  
克服 根津 寿夫  
近世考古学からみた徳島城下町 石尾 和仁  
史窓のひろば

鳥居龍蔵『ある老学徒の手記』  
の誤記と年譜 石尾 和仁

第33回公開研究大会 生業から  
見る地域社会―たくましき人  
々 徳野 隆

徳島県地方史研究文献目録(2009  
年10月～2010年9月)

◆新居浜史談 新居浜郷土史談会  
〒792-0023愛媛県新居浜市繁本町8-65  
新居浜市生涯学習センター内  
TEL0897-33-2991

◇384 2011.7 A5 40p 500円  
日本酒と酒器 千葉 富雄  
幕末の三舟 入江 義博

目で見る古代の伊予 法隆寺勢力  
の瀬戸内海進出と古代の伊予

(4) 吉本 拓  
俳諧資料覚え書き 喜代吉榮徳

◆秦史談 秦史談会  
〒780-0023高知市東秦泉寺283  
松本紀郎方 TEL088-875-6671

◇164 2011.8 B5 53p  
表紙説明 三志士並び立つ 松下 政司

グラヴィア 三谷原生林、ピラカ  
ンサ、愛宕デー、例会

惜別の歌 鍋島 静一  
土佐地名往来「鎌研」山仕事に行

く前に(『高知新聞』より)  
秦山の「楠瀬氏碑」について 松本 紀郎

気になる勤王家 岩崎馬之助 広谷喜十郎  
土佐勤王党150年に思う 永国 淳哉

岡田以蔵(3) 岩崎 義郎  
ともこの昭和時代(2) 朝の呼び  
声(『土佐の民話』市原麟一郎

編から) 藤本 知子  
思い出の高知市(1) 高知女子大  
のピラカンサの垣根 松本 紀郎

秦の昔話 その26 愛宕山の巻  
愛宕山・愛宕神社 天狗とのこ

と(『こうち童話』から) 永野美智子  
上海列車事故 広谷 雅子

民権ばあさん物語「馬とはちきん  
さん」(23) 新聞のお葬式、板  
垣さんと後藤さんの洋行(「こ

うち童話」から) 久米生太子／藤本知子  
「ローカルジャーナル 秦史談」  
(『高知新聞』より)

永井隆の祈り―長崎の鐘より 毛利 俊男  
秦地区の戦争遺跡 松本 紀郎

岡村庄造氏拓本集から(25) 岡村 庄造

九州・沖縄

◆九州史学 九州史学研究会  
〒812-8581福岡市東区箱崎6-19-1  
九州大学文学部日本史学研究室内  
TEL092-642-2375 1956年創刊

www.lit.kyushu-u.ac.jp/his\_jap/kyushusigaku/  
◇158 2011.7 B5 86p

《特集 近世大名展をつくる／みる》  
巻頭言 特集にあたって 中野 等

報告  
熊本県立美術館における「近世

大名展」―「激動の三代展」と  
「細川歴代の文と武と美」 山田 貴司

「小西行長」展の開催過程―大  
名展示の一例として 鳥津 亮二

「黒田長政と二十四騎―黒田武  
士の世界」展を振り返って

宮野 弘樹

コメント  
近世大名展の可能性 柴多 一雄  
近世大名展をめぐる思い 高野 信治  
寄稿

大名道具を展示する―モノに託  
された人の記憶を覚醒させる

こと 植野かおり  
近世大名展をつくる―香川県

立ミュージアム(旧香川県歴  
史博物館)における展示を事

例にして 御厨 義道  
総括 近世大名展をつくる／みる

日比野利信

◆天草市立天草アーカイブズ年報  
〒863-2201天草市五和町2943  
TEL0969-27-5515 2003年創刊

◇8 2011.3 A4 56p  
平成21年度天草市立天草アーカイ  
ブズ講演会講演記録 公文書保

存の意義と活用について 高野 修  
罹災文化財救済処置技術意見交換

会 技術意見交流会発表記録  
熊本県天草市水害における対応

について 金子久美子  
平成21年度アーカイブズ・カレッ

ジ(短期コース)終了論文 天草  
アーカイブズにおける市町合併

文書の整理をめぐる今後の課題  
橋本 竜輝

◆宮古郷土史研究会会報  
〒906-0013沖縄県宮古島市下里1223-8  
下地和宏気付 TEL0980-72-9963

◇185 2011.7 B5 8p  
7月定例会レジュメ

砂川のナーパイ祭祀 本永 清  
8月定例会レジュメ 宮古島地名

雑考一地名と地形と伝承と	下地 利幸
明治34年、初の沖繩修学旅行	
一5月定例会を終えて	下地 和宏
6月定例会のまとめ	
地機について	仲間 伸恵
宮古郡教育部会編「貢反布沿革調」	
一平民に過重な貢反布	下地 和宏
「沖繩協」設立30周年を祝う 全	
県市町村史紹介「記念誌」も発	
行	仲宗根将二
「慰霊の日」関連特別展示	
「今に残る戦争」の紹介	砂川 史香
宮古郷土史研究会『35年のあゆみ』	
発行	下地 和宏
新城、下地両氏に贈られる第15回	
平良好児賞	宮川 耕次
「宮古毎日新聞」コラム集	
「行雲流水」第二集を読む	仲宗根将二

### 寄贈図書紹介

- ◆もうひとつのスキー発祥の地〈おたる地獄坂〉 小樽商科大学創立100周年記念出版  
中川喜直著 国立大学法人小樽商科大学出版会 (〒047-8501 北海道小樽市緑3-5-21 Tel. 0134-27-5271) 2011年6月 A5 92頁 772円  
北海道スキー術伝来のきっかけをつくった小樽高等商業学校初代校長 渡辺龍聖をはじめ、二代伴房次郎・三代苔米地栄俊と小樽・日本のスキー発展に多大な影響を与えた歴史をふまえて、小樽がスキーのメッカとして育まれた源泉について、小樽高商を部隊に紹介する。北海道スキー術伝来百年と小樽／日本におけるスキー競技の始まりと小樽／黎明期における日本スキー術の変遷と小樽／世界と日本・北海道のスキー
- ◆佐沼郷の歴史ノート  
佐沼郷土史研究会50周年記念

佐沼郷土史研究会編・刊 (〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字新大東60 芳賀則夫方) 2011年5月 B5 203頁  
『佐沼郷土史の散歩道』(平成10年11月刊)、『迫町の人物誌』(平成16年11月)につづく研究会創立50周年記念誌として、古代から近世の佐沼郷のさまざまな事績を紹介する。発刊のことは(芳賀則夫)／迫町の縄文遺跡出土遺物ガイド(高橋多吉)／縄文のこころ村人の祈り(太布磯雄)／新田深沢B貝塚と大泉式土器(高橋多吉)／新田郡、讃馬郡、登米郡について(高橋多吉)／新田村の生い立ち(守屋八郎)／新田の地名由来(菅原正熙)／登米市にある指定仏像について(鈴木功)／踊念仏碑 一遍上人の足跡(太布磯雄)／迫町の中世城館について(高橋多吉)／佐沼城の戦い 伊達政宗の陣立て(遊佐英男)／亘理宗根の生母「香の前」(芳賀則夫)／佐沼城の給主、久光家の今昔(三浦芳之)／佐沼郷呂津田氏四代の業績(太布磯雄)／「立石潜穴」の成立時期(菅原正熙)／津田丹波定康の失脚(三浦芳之)／佐沼亘理家陪臣の暮らし(遊佐英男)／佐沼郷における人数改帳について(高橋兵衛)／新田上郷・下郷、代数有之御百姓書出(高橋兵衛・三浦芳之)／北方村の代数有之御百姓書出(三浦芳之)／迫川の舟運(芳賀則夫)／寛政一揆と佐沼(芳賀則夫)／赤子養育仕法(遊佐英男)／目薬「開明香」の時代(太布磯雄)／江戸後期 佐沼の文化人達(佐藤清一)／佐沼郷の信仰史(概観)(太布磯雄)／登米伊達家における下級武士の出世術(高橋多吉)／佐沼代官区の犯科帳 他から(佐藤清一)／佐沼・新田「道しるべ」五基(菅原正熙)／横綱丸山の最後と迫町の子孫達(佐藤清一)／迫町新田地域の「製鉄遺跡と金子石」出土地(菅原正熙)／新田前沼の成立と新田開発(灰白色火山灰層)(菅原正熙)／「猪神成長者の手紙」猪神成長

- 者 佐藤昆信と半田卯啼の交流(佐藤清一)／幕末明治期 佐沼と周辺の画家たち(三浦三吾)／日々澤鉦鹿と半田卯内(太布磯雄)／伝染病流行と避病院等の開設(芳賀則夫)／栗原郡佐沼郷外十七ヶ村百姓一揆 草莽の志士「佐竹龍虎狼」(菅原正熙)／幻の名木「つつらたもの木」(菅原正熙)／佐沼鹿踊の復興(遊佐英男)／佐沼郷土史研究会五十周年のあゆみ／佐沼郷土史研究会会員名簿／『佐沼郷の歴史ノート』編集委員／あとがき
- ◆山形県米沢市広幡町成島 成島の民俗—高度経済成長とムラの変貌 神奈川大学歴史民俗学調査報告11  
佐野賢治編 神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究所 (〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 Tel.045-481-5661) 2011年3月 A4 42頁  
大学院歴史民俗資料学研究所の2009年度民俗資料調査実習の民俗調査報告。高度経済成長と民俗学一序に代えて(佐野賢治)／成島の概要(伊津野均)／「たんぼ」から圃場へ—農業構造改善事業と農家の暮らしの変化(高橋知可子)／水と暮らし—水利慣行から見たムラの変遷(伊津野均)／成島地区の母親たち—若妻会から「たんぼぼくらぶ」へ(大橋克巳)／特別寄稿 兀という地名—成島焼の周辺(水野哲)／特別寄稿 生きている生島の屋号(伊津野均)／ムラ人の共属意識の核—八幡社—成島八幡神社と祭礼(稲井一樹)／路傍の神から見える人々の信仰—成島八幡神社・明光山玉泉寺、円通山林高庵(原麻子)／暮らしと成島神社までの空間構成—隠れた神仏の多様性(白井正子)／あとがき—謝辞・断想
- ◆常陸国筑波郡弥左衛門新田『御用留』I  
一茨城県取手市新川 飯島満男家文書  
近江礼子著 (〒300-1536 茨城県取手市光風台2-4-13 Tel.0297-83-4662) 2011年7月 B5 175頁 1000円

- 常陸国筑波郡弥左衛門新田(茨城県取手市新川)の飯島家における約3000点の所蔵文書のうち、寛政6年(1794)から安政6年(1859)までの10冊の「御用留」を、旧伊奈町史編纂事業の一環としての伊奈町古文書同好会の活動もふまえながら翻刻・収録する。  
寛政6年(1794)正月『御用留帳』／寛政10年(1798)正月『御用留書留帳』／寛政12年(1800)正月『御用留』／天保10年(1794)正月『御用留』／弘化4年(1847)正月『御用留』／嘉永2年(1849)正月『御用留』／嘉永6年(1853)正月『御用留』／安政2年(1855)11月『御用向公事控帳』／安政4年(1857)正月『御用留』／安政6年(1859)正月『御用留』
- ◆人物でみる栃木の歴史  
栃木県歴史文化研究会編 随想舎 (〒320-0033 栃木県宇都宮市本町10-3 T Sビル Tel. 028-616-6605) 2011年8月 A5 461頁 2400円  
栃木県の歴史と文化に関する学際的研究を進める会を目指して1991年12月1日に発足した栃木県歴史文化研究会の創立20周年記念出版。栃木県(下野国)出身、あるいは栃木県の歴史に大きな影響を与えた古代～近現代の人物18名を取り上げて、その事績から栃木の歴史と文化をたどる。はじめに—「歴史研」創立20周年記念出版にあたって(千田孝明)／那須直韋提(眞保昌弘)／勝道(國井弘紀)／円仁(千田孝明)／藤原秀郷(佐久間弘行)／那須与一(新井敦史)／親鸞(永村眞)／足利尊氏(江田郁夫)／上杉憲実(松本一夫)／天海(山澤学)／本多正純(川田純之)／松尾芭蕉(竹末広美)／小泉斐(橋本慎司)／二宮尊徳(松木明夫)／勝海舟(山本訓志)／鈴木要三(石川明範)／田中正造(大嶽浩良)／中枝武雄(篠崎茂雄)／濱田庄司(柏村祐司)／あとがき(江田郁夫)
- ◆青年詩集 工都川口日録抄  
まるはと叢書10

岡田博著 (〒334-0013 埼玉県鳩ヶ谷市南1-5-5 電話048-281-4118) 2011年7月 A5 139頁 非売品

不二道孝心講開祖 小谷三志研究で知られる著者の作品集。著者が参加していた川口市立中央公民館青年学級終了生の会「いずみ会」の会誌『会報いずみ』(1952年8月1日創刊)からまとめた構成詩稿と、1946年から1963年までの作詩ノートから選んだ作品83編(川口市文化財センター 宇田哲雄選)を収録する。自序／構成詩 川口 昭和29年1月15日／構成詩 川口の人人 昭和29年11月日／慚悽日録抄／仕事るとき／『いずみ』詩壇から／近詠再録／補注／あとがき

◆佐倉市小竹西福寺所在石造文化財第2次調査概要報告書 本堂左手集合墓石群全54基 志津ブックレット5

鈴木登・宮武孝吉調査 志津文庫 (〒285-0844 千葉県佐倉市上志津原67 宮武方) 2011年6月 A4 18頁

志津公民館しづ市民大学研究科第1期生石造文化財調査班による「千葉県佐倉市志津地区石造文化財調査報告書 旧小竹村 全186基」(2002年3月)で報告されている西福寺所在の52基をふまえて2010年1月に行われた調査報告書。本堂左手集合墓石群一覧／レイアウト図／石造文化財調査票(サンプル)／調査概要報告書／造立年代順一覧表

◆佐倉市下志津木戸場の梵天塚所在出羽三山碑調査概要報告書 志津ブックレット6 宮武孝吉調査 田中征志協力 志津文庫(同上) 2011年7月 A4 15頁

2011年6月に行われた梵天塚所在出羽三山碑の調査報告書。木戸場梵天塚所在出羽三山碑一覧／木戸場梵天塚所在出羽三山碑レイアウト／志津地区石造文化財調査表(サンプル)／木戸場梵天塚所在出羽三山碑調査概要／寛文4年銘出羽三山碑／木戸場梵天塚所在の出羽

三山碑について(田中征志)

◆二〇一一年三月十一日の地震―千葉県香取市佐原 日本史史料研究会 フィールドワークレコード千葉001

日本史史料研究会編・刊 (〒350-1328 埼玉県狭山市広瀬台3-26-1 武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部神野潔研究室 Tel.090-3808-1260) 2011年5月 B5 60頁 千葉県香取市佐原を訪ねて(渡邊大門)／二〇一一年三月十一日の前と後―千葉県香取市佐原地域／画像集／あとがき(生駒哲郎)

◆東京・埼玉大水害100周年記念講演会報告書 「東京大水害から100年、そしてこれから」シンポジウム実施事業

東京・埼玉大水害100周年記念講演会実行委員会編・刊 (〒115-0042 東京都北区志茂1-23-4 NPO法人あらかわ学会 Tel.03-3598-2133) 2011年3月 A4 22頁

1910年(明治43)の荒川沿川の大洪水から100年にあたる2010年に4回開催された講演会(NPO法人あらかわ学会・北区史を考える会・NPO法人ア!安全快適街づくり主催)の報告集。「天災は忘れたころにやってくる」(鈴木誠)／東京・埼玉大水害100周年記念講演会の実施体制／東京・埼玉大水害100周年記念講演会の開催概要／第1回講演会に利用するために作成したパネル内容／第2回講演会に利用するために作成したパネル内容／8月講演会発表要旨 メディアに見る明治43年の東京大水害(領塚正浩)

◆中国湖南省藍山県ヤオ族儀礼文献に関する報告 I 神奈川大学歴史民俗調査報告12

神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科 (〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 Tel.045-481-5661) 2011年3月 A4 142頁 湖南省藍山県に居住する過山系ヤオ族の通過儀礼のうち、宗教職能者としての最高位を叙任する度戒儀礼について2008年冬に行われた

総合的調査の報告書。はじめに(廣田律子)／藍山県の位置／藍山ヤオ族度戒儀礼程序／藍山ヤオ族度戒儀礼中補掛三灯部分程序／ヤオ族文化研究所所蔵テキスト目録／底本テキストA-32aの翻刻／比較を行うテキストの目次／各テキストの比較表／おわりにかえて

◆新横須賀市史 資料編 近現代Ⅲ 横須賀市編・刊 (〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町11 横須賀市総務部総務課 市史編さん担当 Tel.046-822-8150) 2011年7月 A5 1268頁 4000円

2004年から刊行開始された新市史(全15巻)の第10回配本。昭和恐慌・満州事変の昭和6年(1931)から敗戦・占領後の新たな発展が始まる昭和32年(1957)までの史料832点を収録。口絵／序／『新横須賀市史』資料編近現代Ⅲについて／昭和戦前期の政治行政(準戦時期の市政、戦時下の市政)／占領・復興期の横須賀市政(占領の開始、戦後市政の発端、民主改革、復興・講話期の市政)／農漁業と商業(農業、漁業、商工業)／近代産業(海軍工廠、浦賀船渠、その他の工業、交通機関、電気・ガス・通信事業)／軍港横須賀の戦時(軍国主義の時代、太平洋戦争の時代)／教育の戦時戦後(戦時下の教育、教育の戦後改革)／宗教と社会(宗教、市民生活と衛生、災害と救援、社会と文化)／戦後横須賀の諸相(占領と横須賀、軍港都市からの転換の模索、戦後復興と再軍備)／口絵挿絵等出典一覧

◆応永飛驒の乱六百年記念誌 姉小路と廣瀬 『姉小路と廣瀬』出版事務局編 (〒509-4242 岐阜県高山市古川町増島町11-20 森要 Tel.0577-74-0131) 姉小路家・廣瀬家特別事業実行委員会 (〒506-0001 岐阜県高山市冬頭町26-1 竹田雅文 Tel.0577-33-0981) 2011年3月 A4 296頁 3000円(送料350円)

応永18年(1411)7月の「応永飛驒の乱」から600年を記念して、中世・室町期の姉小路氏に

についての史料・研究を飛驒を中心にまとめる。応永の武者(前田青邨筆)／応永飛驒の乱600年祭開催にあたって(下出剛史)／祝辞(井上久則・國島芳明)

姉小路氏と廣瀬氏 応永飛驒の乱600年記念事業／記念講演会(姉小路基綱像と濟継像、姉小路歴代と和歌、姉小路・廣瀬ゆかりの武具、飛驒中世ゆかりの品、姉小路と本願寺蓮如)／姉小路氏ゆかりの地(姉小路氏ゆかりの地マップ)／廣瀬氏ゆかりの地(廣瀬氏ゆかりの地マップ)／山城めぐり

[記念論文集] 特別寄稿 姉小路基綱について―仮名日記作者として(小川剛生)／特別寄稿 北朝・室町幕府と飛驒国司姉小路氏(大藪海)／1400年代の古川周辺―国司姉小路氏と守護京極氏(福井重治)／姉小路氏の飛驒と桃井氏と越中の交渉(久保尚文)／中世江馬氏と姉小路氏の接点について(都竹清隆)／姉小路と飛驒真宗―飛驒の真宗寺院と本願寺蓮如(竹田雅文)／15世紀における信州小笠原持長とその配下の武将内ヶ嶋氏等の飛驒・越中への進出(坂部和夫)／姉小路古川家、城郭遺構を考える(田口豊)／応仁の乱前後の古川地域と姉小路氏―姉小路基綱の人物像をめぐって(堀祥岳)／藤原北家長良流 茂範後裔後藤家々系考証(後藤恒生・河瀬憲夫)／細江歌塚と姉小路一族(斎藤実)／太江十楽観跡の濟継の歌碑について(斎藤実)／広瀬氏と広瀬・高堂城(田中彰)／小谷山(井之口卓貴)／調査レポート 廣瀬家略傳、紅染寺と姉小路昌家の墓(長瀬公昭)／山城は語る 広瀬氏・姉小路氏の城郭について考察(大門宏治)／姉小路基綱文学関係の年譜(藤田勝)／基綱作品を読もう(藤田勝)／姉小路氏・廣瀬氏よもやま話(菅田一衛)／姉小路向家、出羽へ(澤村雄一郎)／清峯寺の立地と伽藍配置について(牛丸岳彦)／姉小路古川家の拠点と応永飛驒の乱の原因について(茂住修史)／高山別院文書

「五月廿九日付下間蓮応書状」について(古田憲司)／伝承「姫の墓」(立田祐子)／刀剣の鑑賞手引き(田中教恵)／石見三善氏と飛騨合戦(吾郷武日)／飛騨国司を打ち取った赤穴弘行(福井重治)／姉小路歴代名の呼称について(竹田雅文)／年譜(「姉小路と廣瀬」関係年譜)

◆西宮の講一つどいの民俗

西宮市立郷土資料館第27回特別展示図録  
西宮市立郷土資料館編・刊(〒662-0944 兵庫県西宮市川添町15-26 TEL0798-33-1298)  
2011年7月 B5 14頁

西宮市立郷土資料館の第27回特別展示の展示図録案内である。西宮市の旧村内のトウヤ(当番)の家で行われてきた講を中心に、西宮市の講というさまざまな「つどう」民俗を紹介する。はじめに／地蔵講／百味講／えびす講／大師講／念仏講／観音講(心願講)／妙見講(長生講)／行者講／善光寺講／種池講／愛宕講／伊勢講

◆平成18年7月豪雨災害における水損被害公文書対応報告書

天草市立天草アーカイブズ編・刊(〒863-

2201 熊本県天草市五和町2943 TEL0969-25-5515) 2011年3月 A4 153頁

平成18年7月22日に旧河浦町などを襲った豪雨災害により被害を受けた旧河浦町役場文書の救助活動の記録。

[水損被害公文書対応報告]

[災害時協力者の論考] 自然災害からアーカイブズを守るための日常対策を(安藤正人)／大量水損被害アーカイブズの救助システムと保存処置技術(青木睦)／初期作業時の段階適対応と冷凍法に向けての文書選別について(児嶋ひろみ)／天草アーカイブズの危機管理—水害対応からの提言(平田豊弘)／大規模被災公文書対応への参加報告(玉川絃子)／地元ボランティアとしての参加(今福美智夫)／文書救出作業に参加して(野間聡)／学生ボランティアとしての参加(松野恭子)／福岡市埋蔵文化財センターにおける天草市の水損文書の真空凍結乾燥処理について(比佐陽一郎)

[リスクマネージメントのための具体的対応策—水損被害レスキューから真空凍結乾燥作業まで]

◆後記

9月25日にNHK総合テレビで放映(10月23日に再放送)された「クニ子おばばと不思議の森」に感動した。宮城県榛葉村最深部の急峻な山地に住む椎葉クニ子さん、87歳。数年前に夫に先立たれたが、嫁いでから60年余、焼き畑一筋で生きてきた。椎葉村といえば、同地の狩猟民俗を描いた柳田國男の処女出版『後狩詞記』(明治42年)が思い起こされる。「今日ではこれが日本民俗学の出発点のように言われている」(柳田『故郷七十年』)と自ら語るように、『遠野物語』にも勝る記念碑である。クニ子おばばの焼き畑は、30年周期で毎年場所を変え、4年したら放置して森に返すというものだ。火入れの前に山の神に祈りを奉げ、蛇や虫たちに逃げるよう告げる。栽培するのは蕎麦だけ。野生のひえ、大豆、小豆、ぜんまい、キノコを天の恵みとして受け取る。朽ちる前に切られた木々は直ぐに新しい芽を出し、森は常に生き生きと再生される。焼かれた土の下ではカタツムリの糞が土を柔らかくし、植物の育ちを良くしてくれる。焼き畑は縄文時代から続いてきた。クニ子おばばは代々受け継がれてきた「種」を守りたいのだと云う。こうした人間と自然の命の循環の営みを見ると、無害化までに数万年、およそ永遠に分解することのできないであろう高レベル放射性廃棄物の上に繁栄や便利さを求める現代人の傲慢、不遜を思わずにはいられない。(飯澤)

地方史情報 106 2011年(平成23年)12月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>  
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137  
発行所: 岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757